2024年度　卒業時アンケート集計結果
家政学部（通信教育課程）

目次

1.　家政学部　通信教育課程　児童学科 2
2.　家政学部　通信教育課程　食物学科 11
3.　家政学部　通信教育課程　生活芸術学科 21

＜2024 年度回答率＞　アンケート実施期間：2025 年 3 月 7 日(金) ～2025 年 3 月 26 日(水)

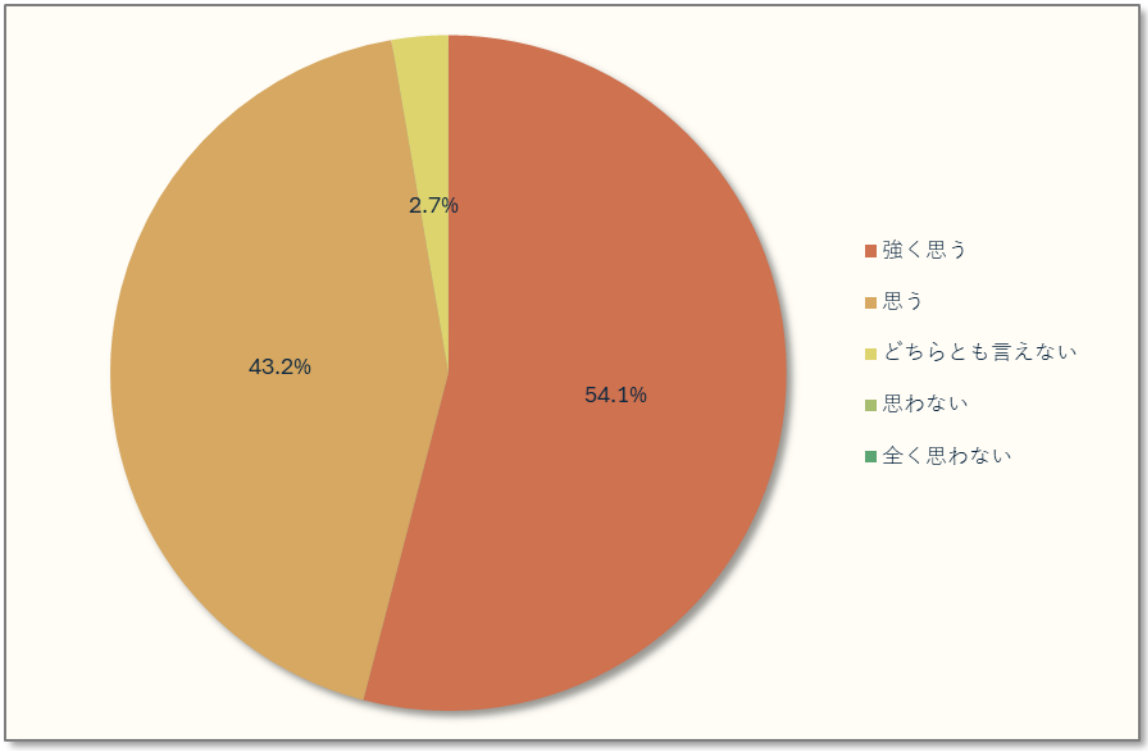
学部	学科	卒業者数（9月及び3月卒業）	回答数	回答率
家政学部 通信教育課程	児童学科	57	37	64.9%
	食物学科	17	11	64.7%
	生活芸術学科	41	28	68.3%
合計		115	76	66.1%

通学課程	4年次在籍者数	回答数	回答率
家政学部	466	287	61.6%
文学部	397	201	50.6%
人間社会学部	530	281	53.0%
理学部	207	142	68.6%
通学課程　合計	1600	911	56.9%

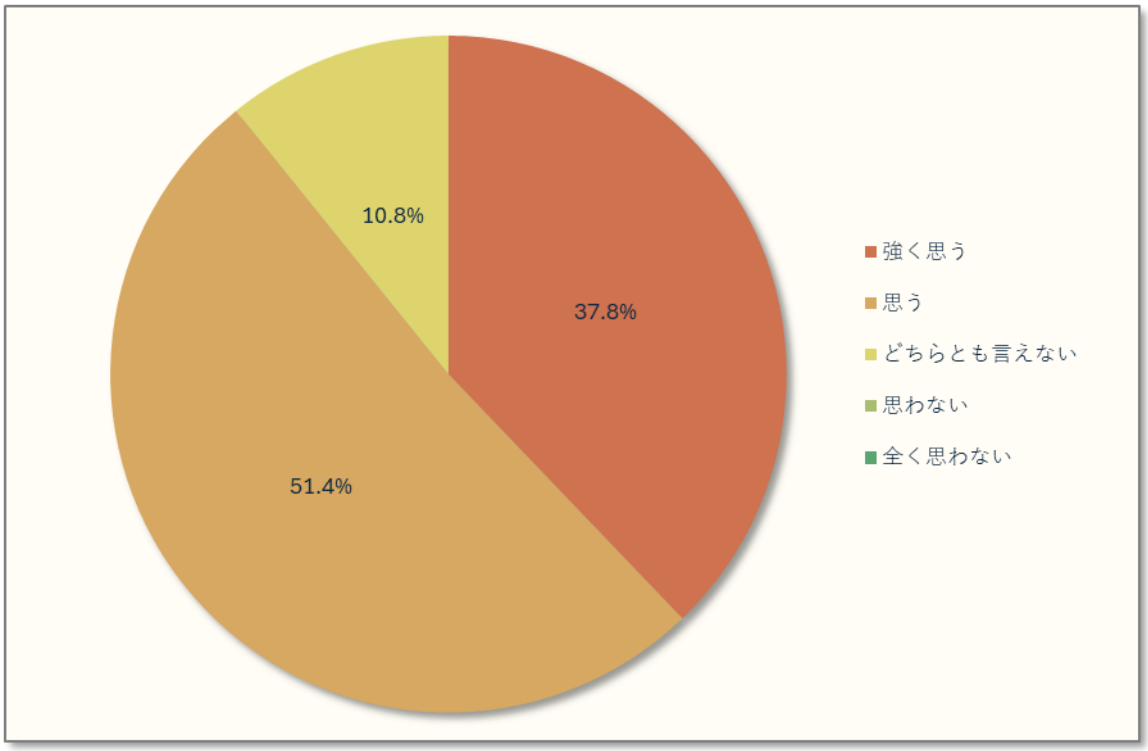
2024 年度卒業時アンケート調査（通信教育課程児童学科）
アンケート実施期間： 2025/3/7(金）～2025/3/26(水)
対象者数：57 名 回答者数：37 名 回答率：64.9%

通信教育課程児童学科の学生として以下のことが身についたと思いますか？［通信教育課程児童学科ＤＰ］

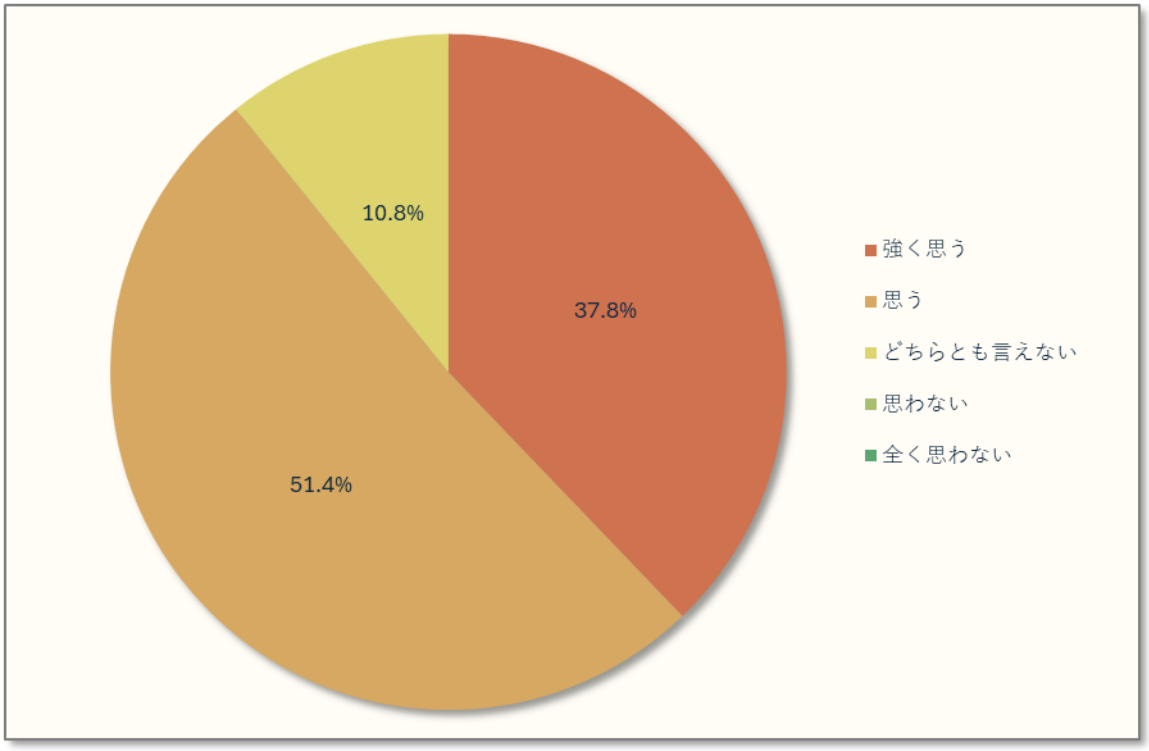
1. **心理・教育・健康・文化・社会の５領域からなる児童学の幅広い知識を持ち、子どもを理解することができる。**



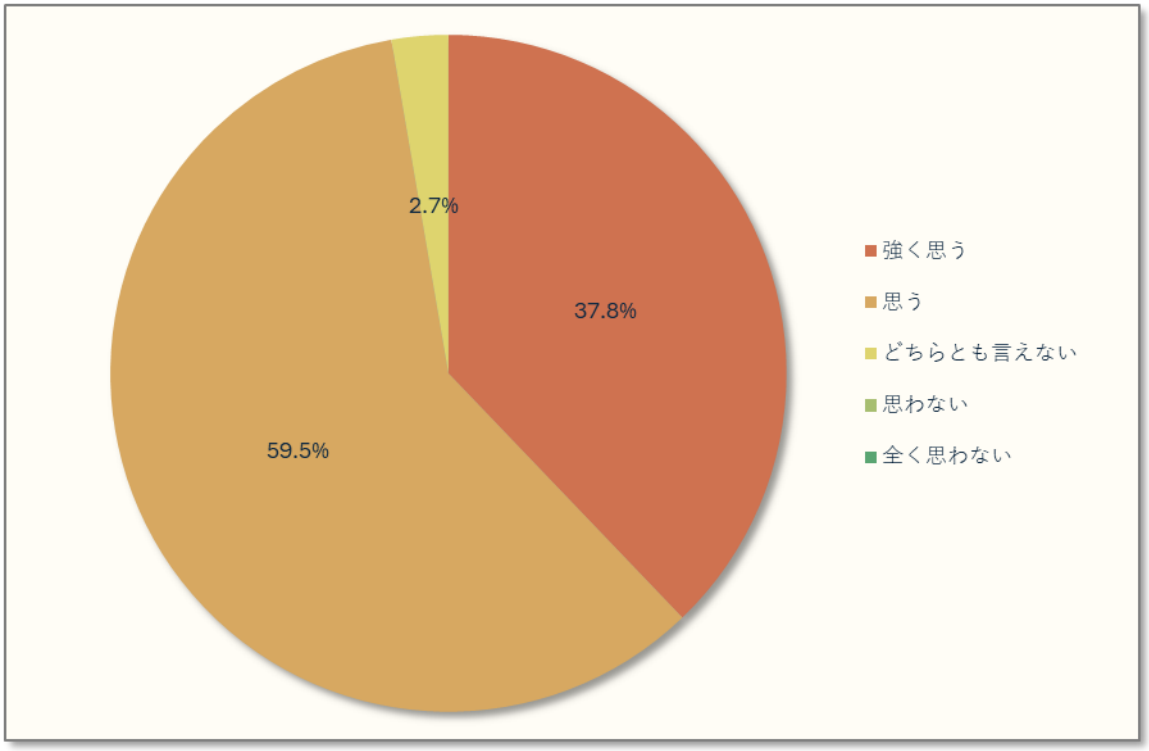
2. **子どもに関わる諸問題に対し、専門的知識を持って課題解決に取り組むことができる。**



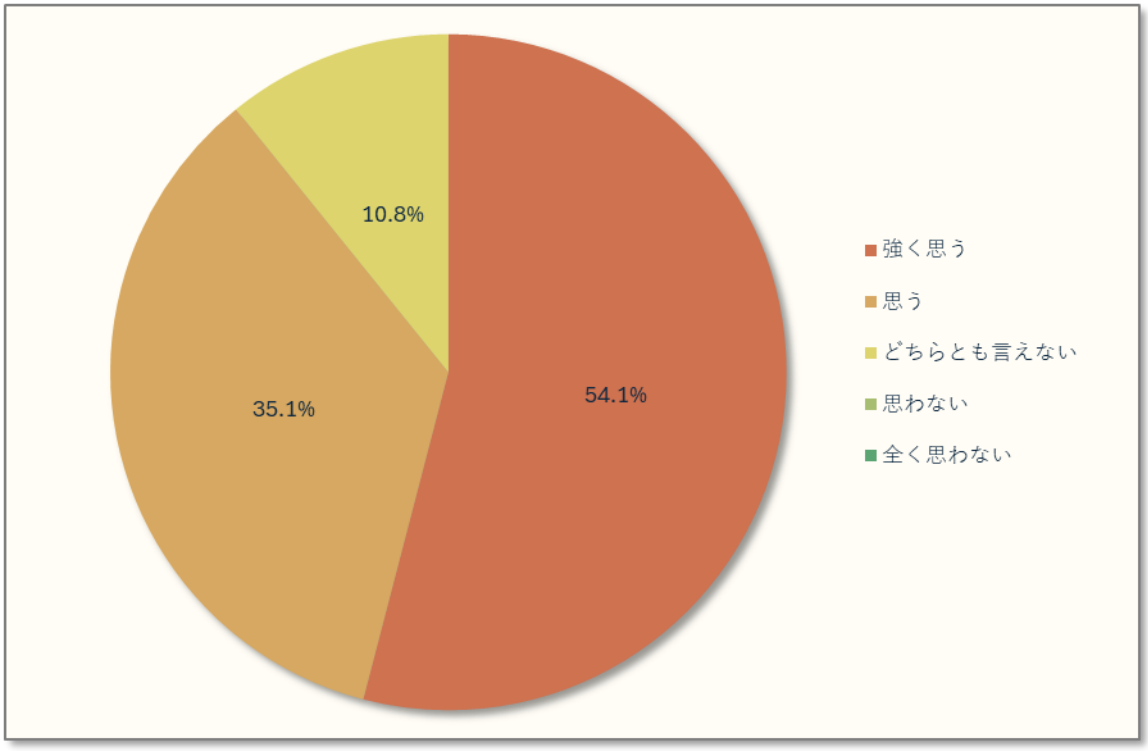
3. 多角的な視野から子どもに関する知識を持ち、的確な子ども観を形成できる。



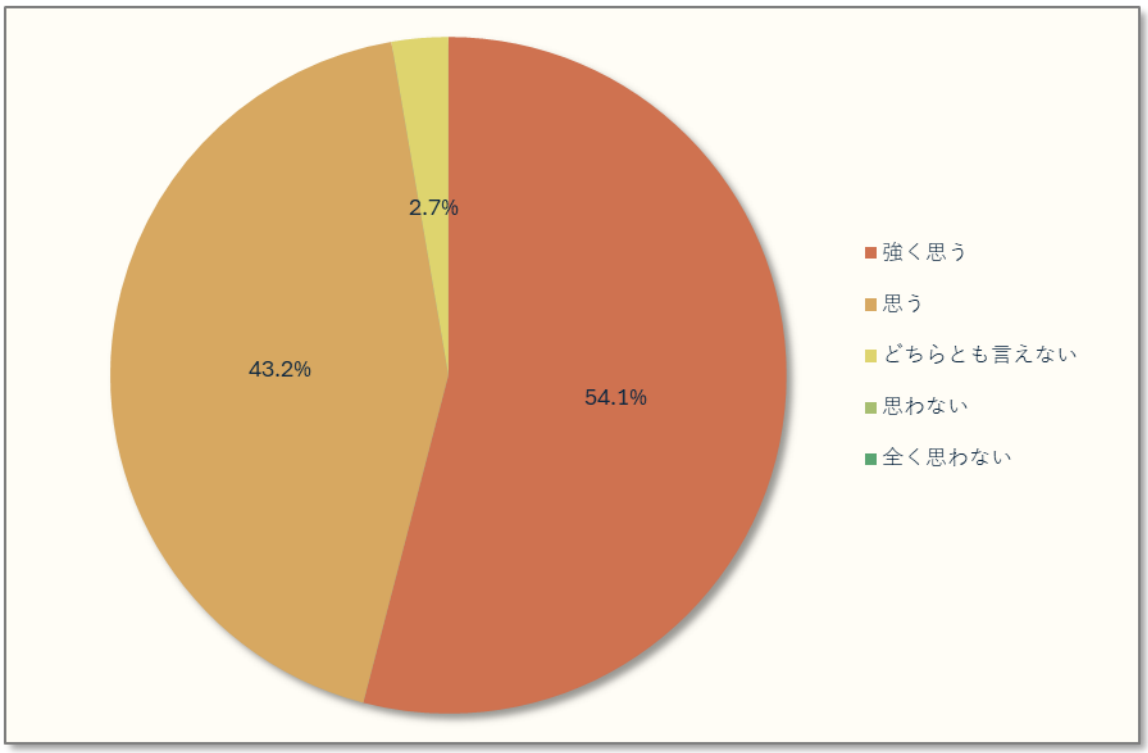
4. 子どもや社会に関する諸問題に関してどのような解決ができるか自ら考察することができる。



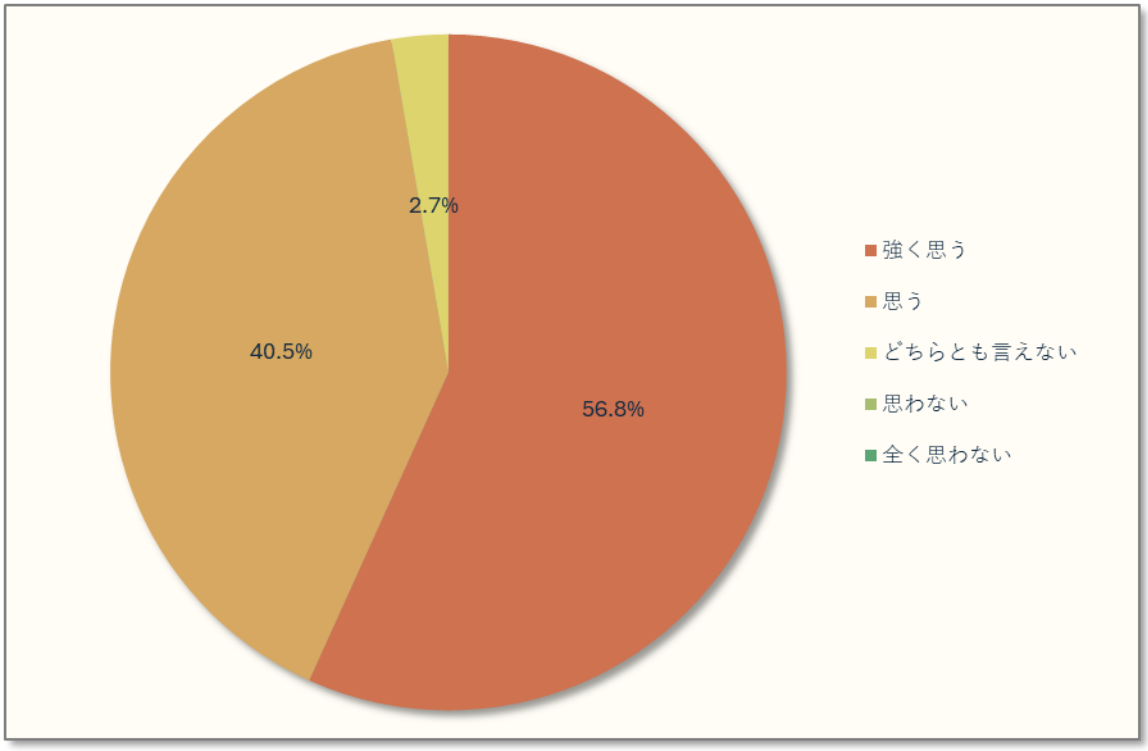
5. 主体性を持って更に学びを深めていくことができる。



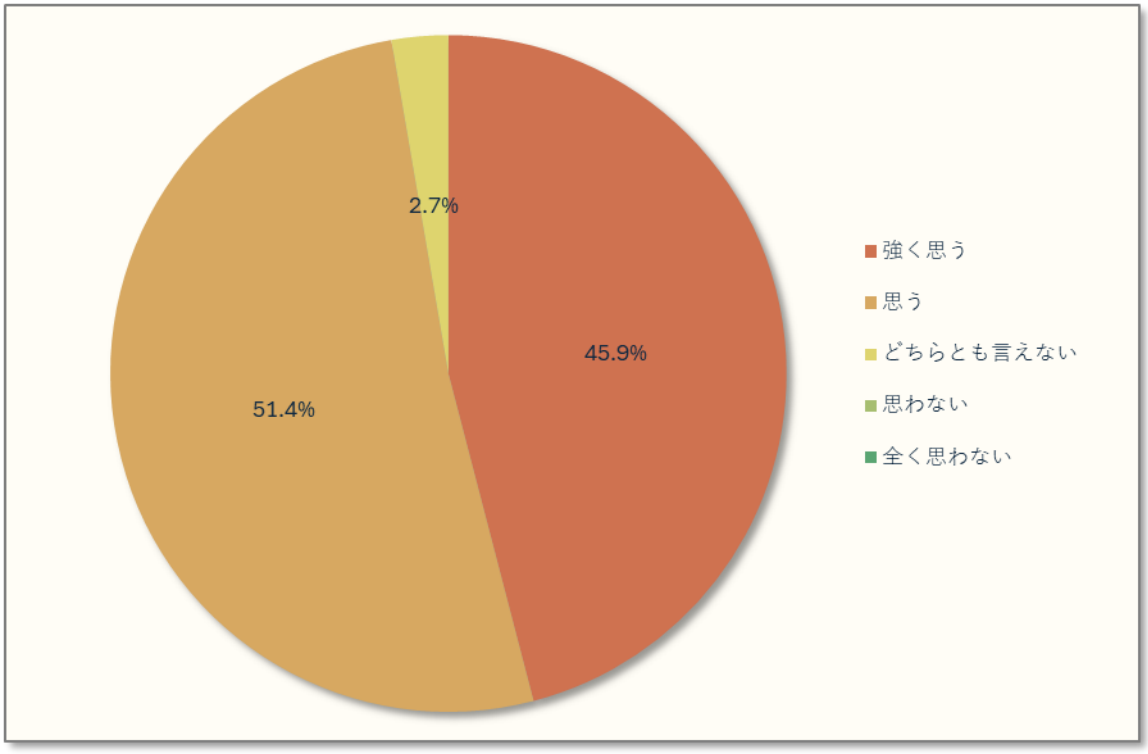
6. 実際に子どもから学ぶ姿勢を持つことができる。



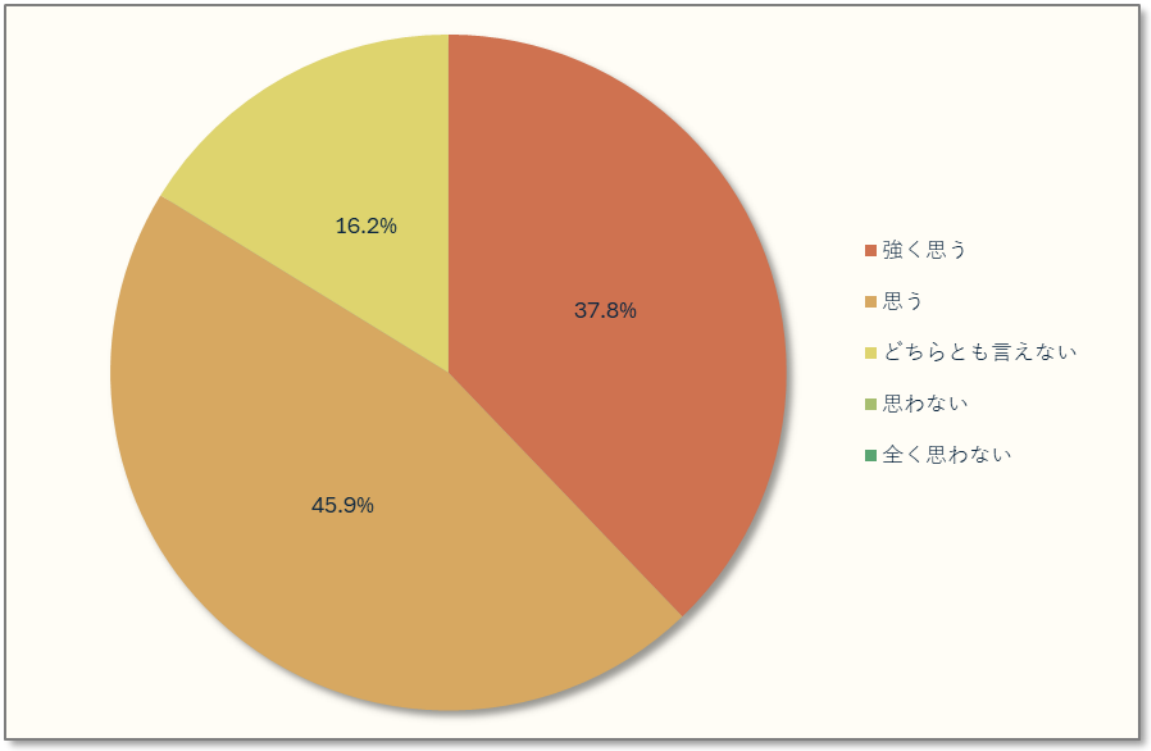
7. 自ら必要な学びを積み重ね、内省し、次の行動に生かすことができる。



8. 他者の意見に耳を傾け協働することができる。

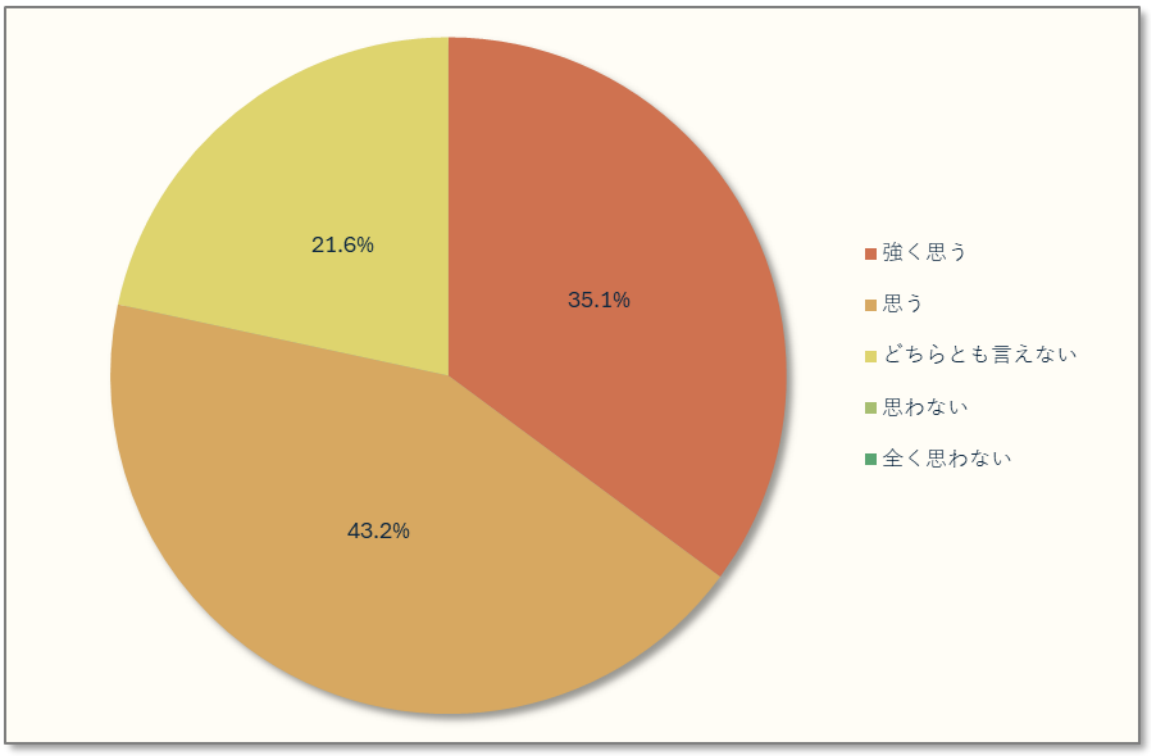


9. さまざまな形態の学習を通して得た情報を生かし、自らの見解をわかりやすく伝えることができる。

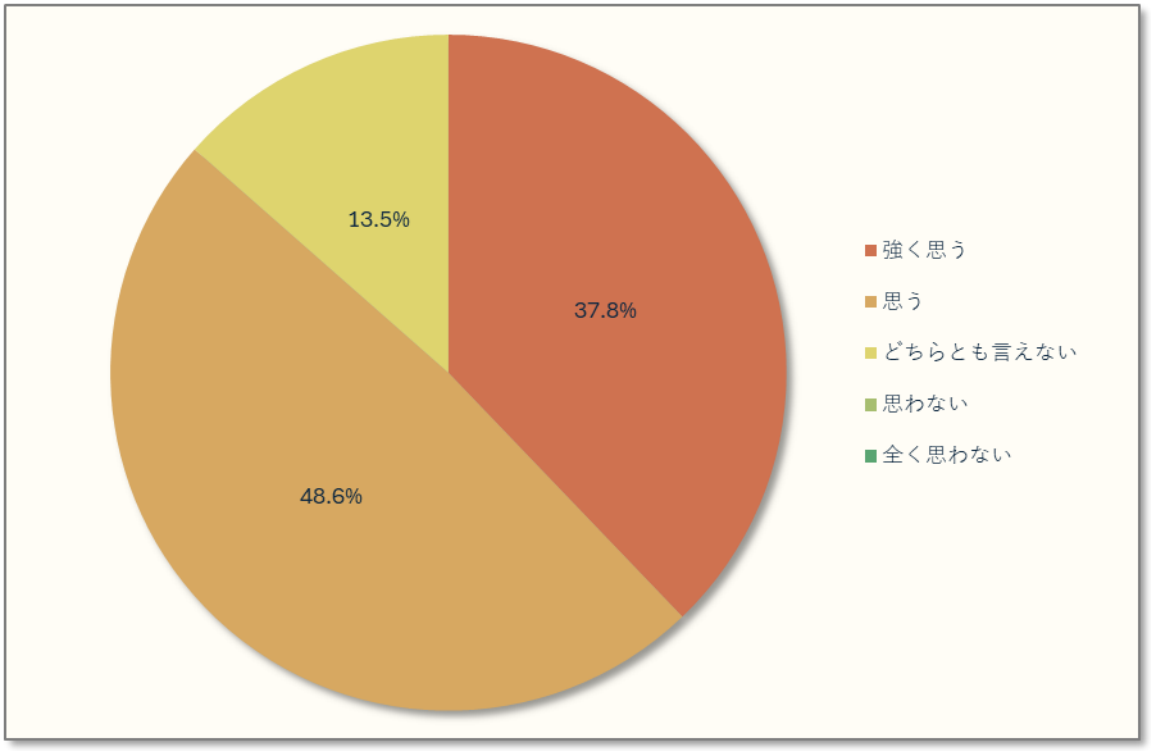


家政学部通信教育課程の学生として以下のことが身についたと思いますか？ ［家政学部通信教育課程DP］

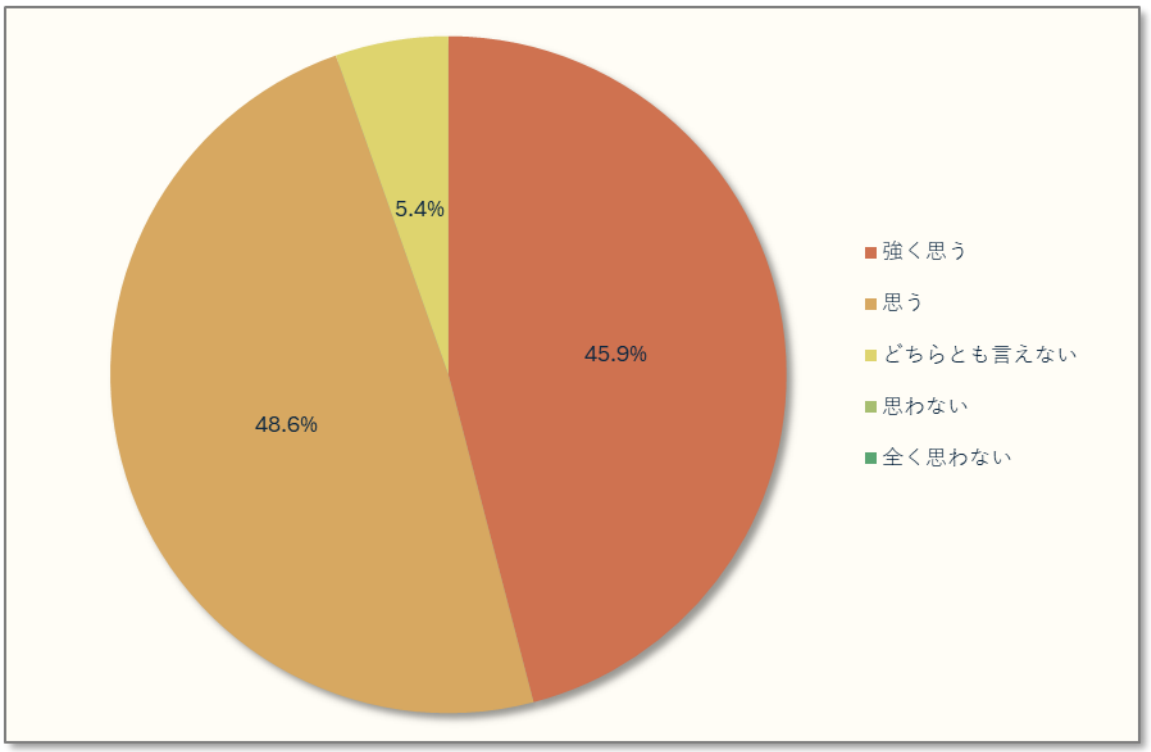
10. 人間生活を科学的かつ実践的に考察することができる。



11. 生活そのものが持つ総合性を理解し、専門的知識を持って社会に貢献することができる。

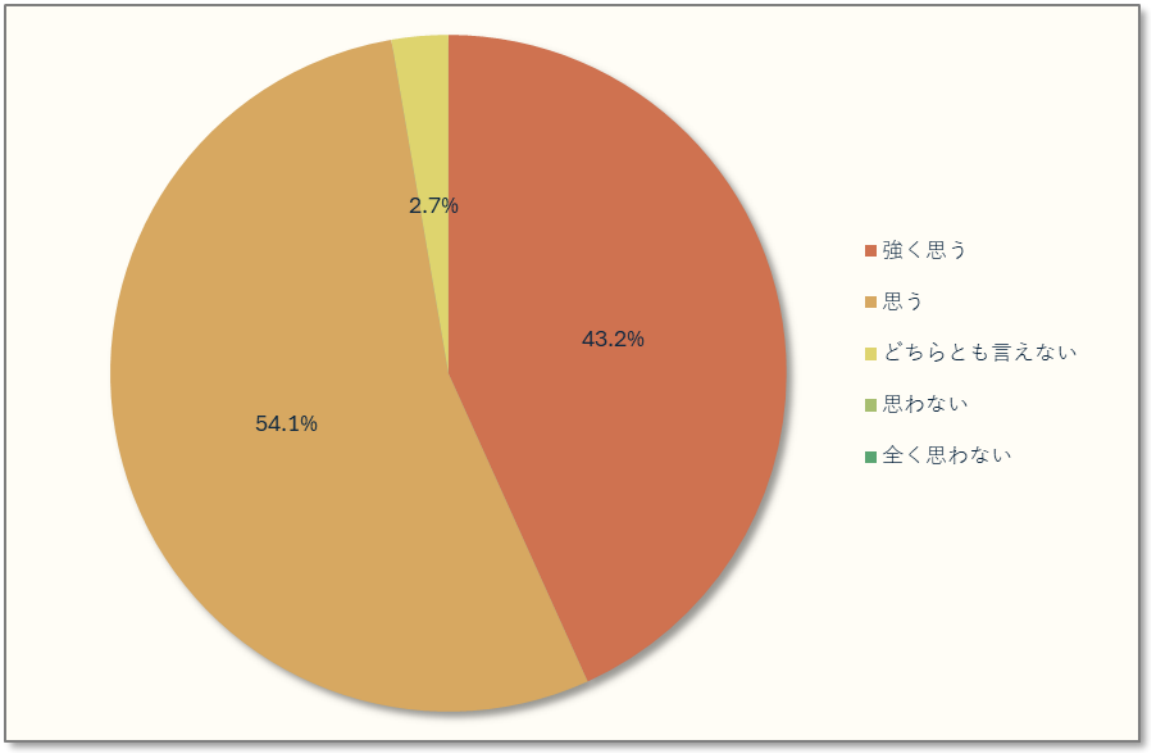


12. 現実の生活を客観的に把握し、自ら問題を発見し、様々な人と協働して解決していくことができる。

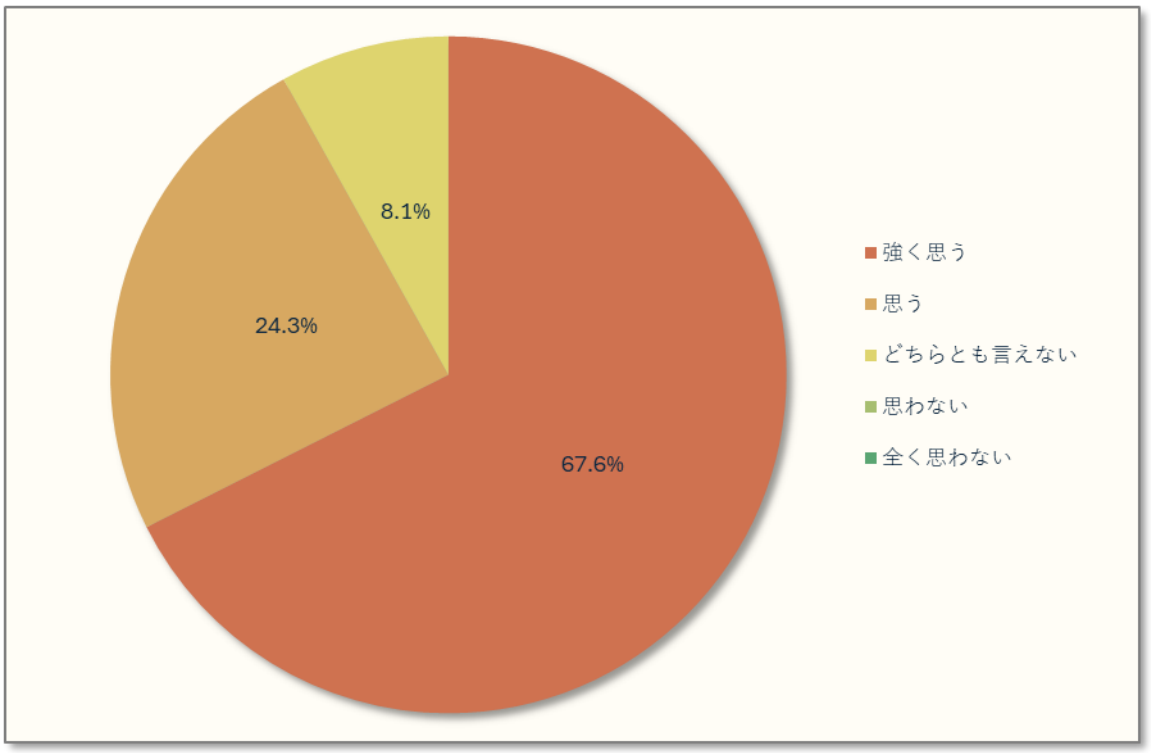


日本女子大学の学生として以下のことが身についたと思いますか？［大学ＤＰ］

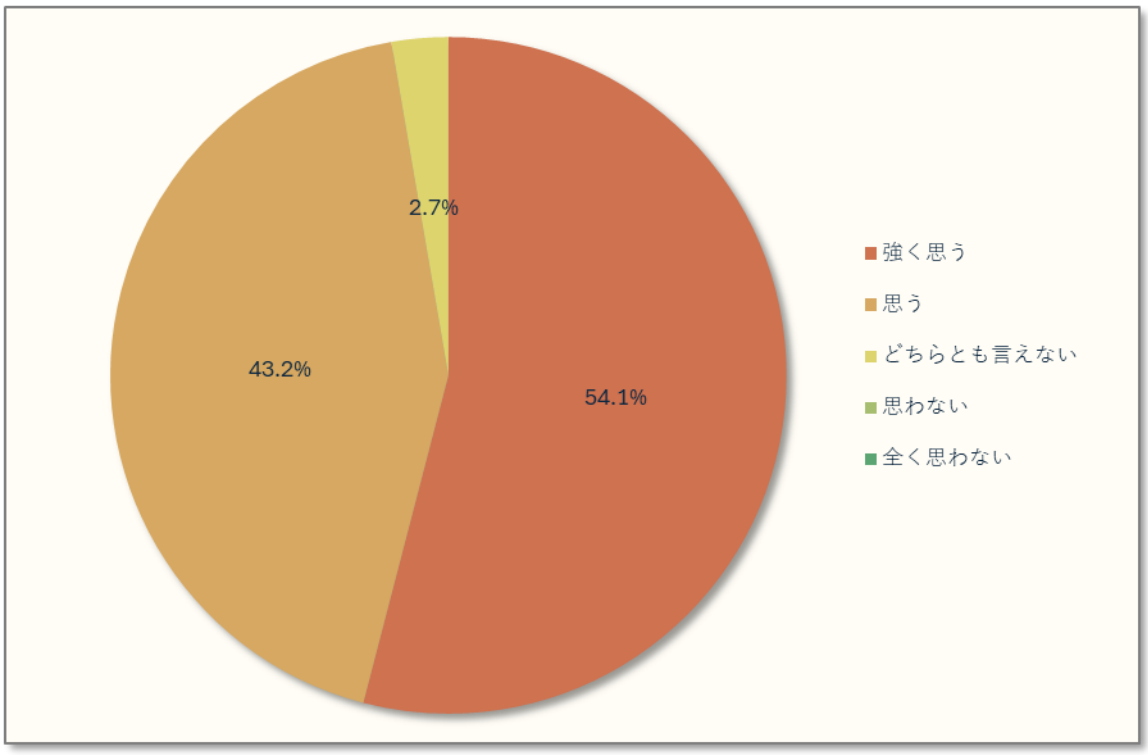
13. 建学の精神を理解し、ひとりの人間として、女性として、国際社会の一員として、自立することができる。



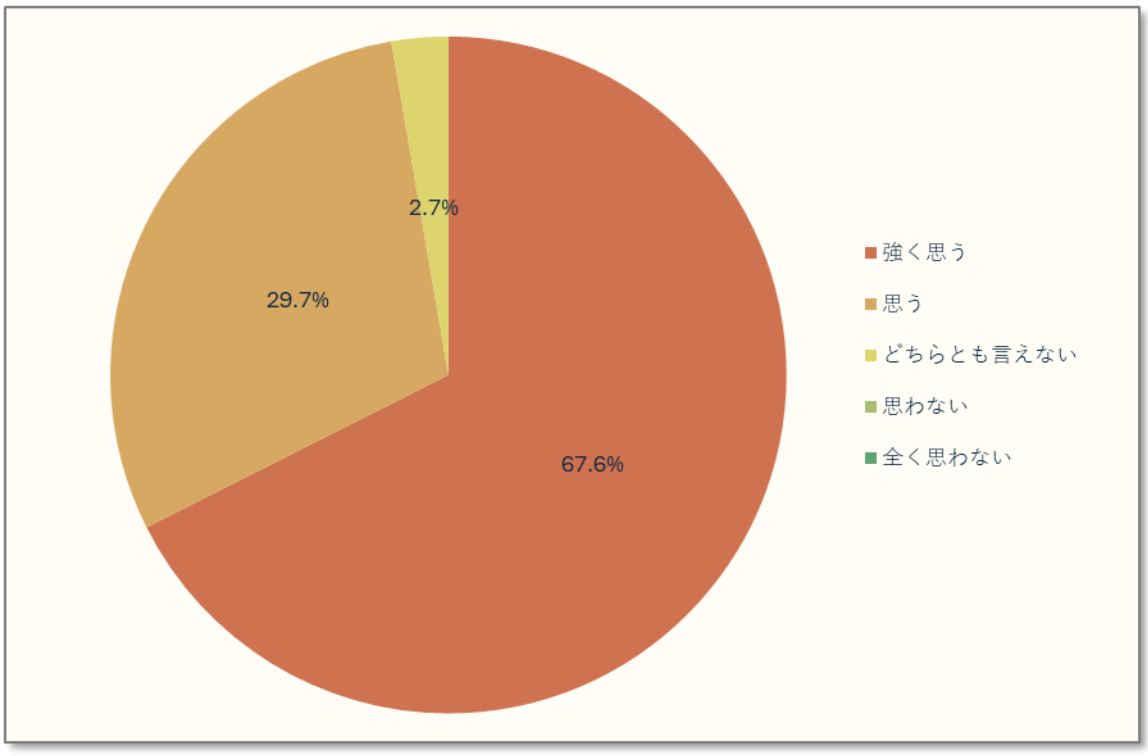
14. 強い信念を持ち自らの人生を切り拓いていくことができる。



15. 自ら新たな課題を発見し、専門的知識と教養教育により培われた知性と感性によって課題の解決に努めることができる。

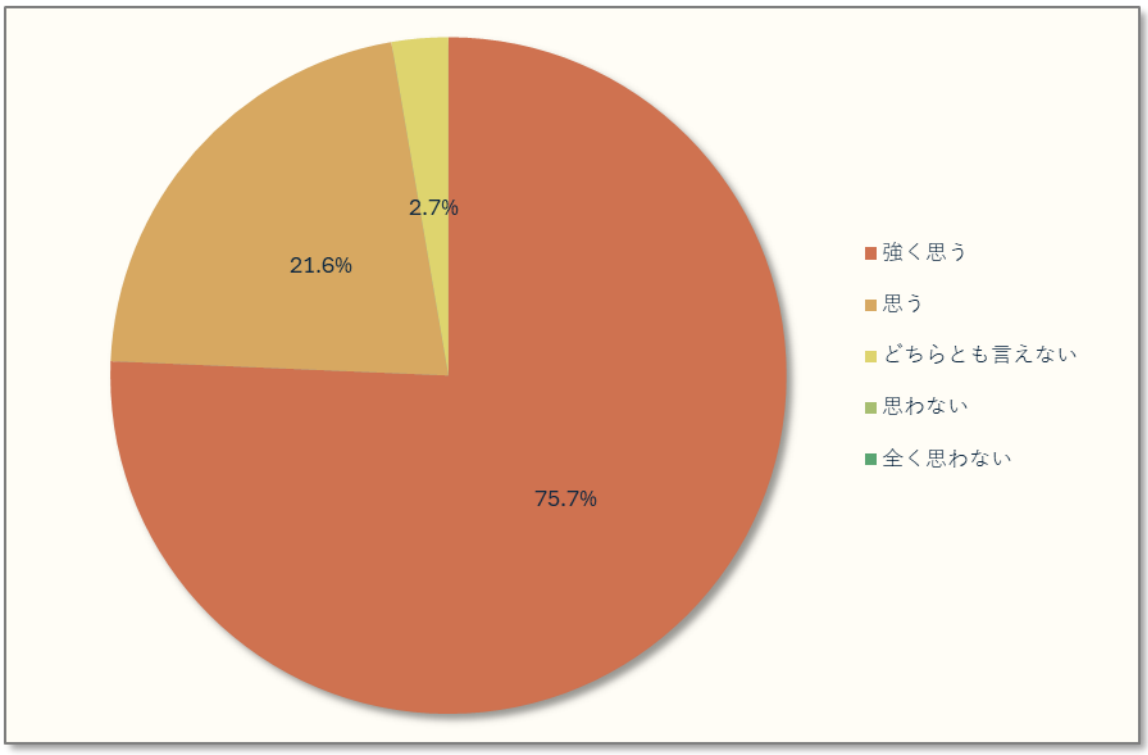


16. 他者に対する共感の気持ちを持ち、まわりの人々と円滑なコミュニケーションをはかって、共同でよりよい社会を築くことができる。

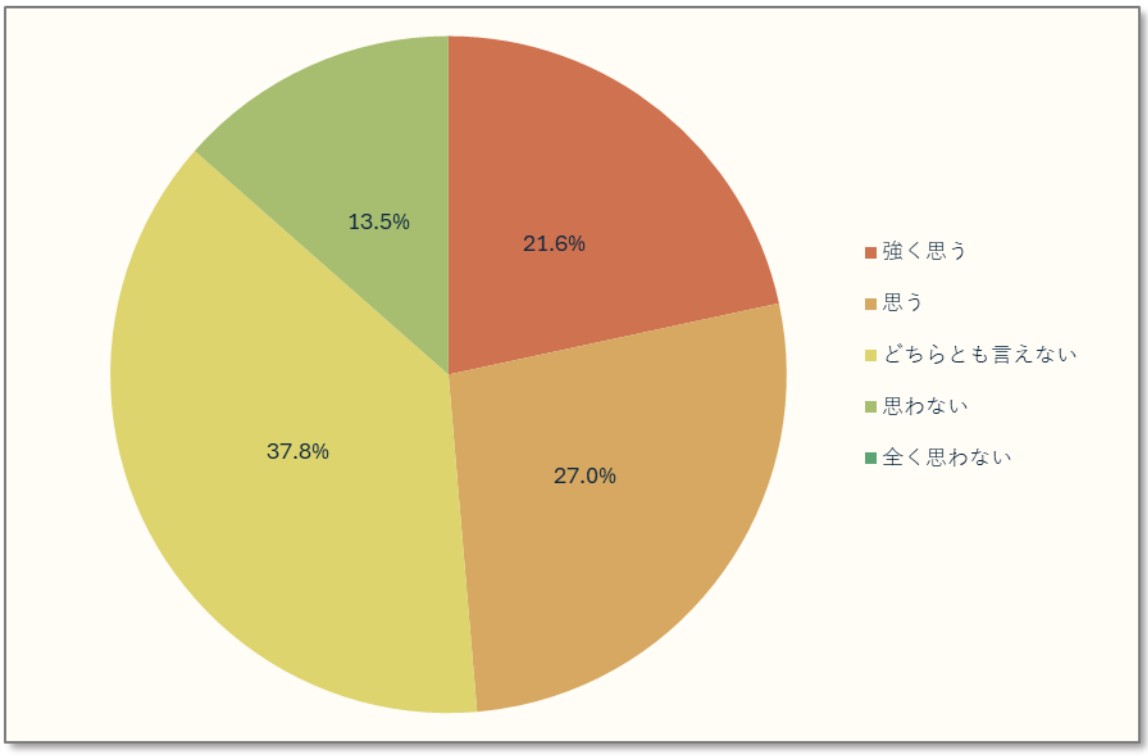


本学卒業にあたっての満足度について伺います。

17. 日本女子大学で学んで良かったと思いますか？



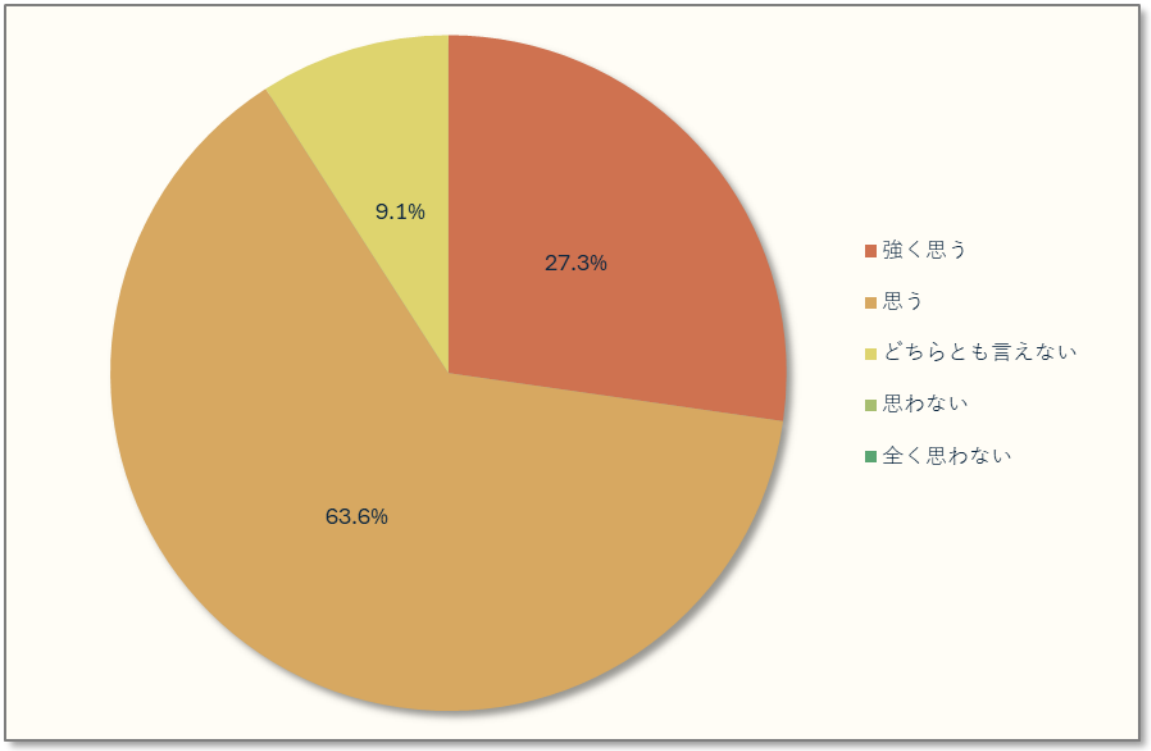
18. 学生生活に関する大学の支援体制（修学支援、キャリア支援、生活支援（心身の健康相談等））は、あなたにとって適切だったと思いますか？



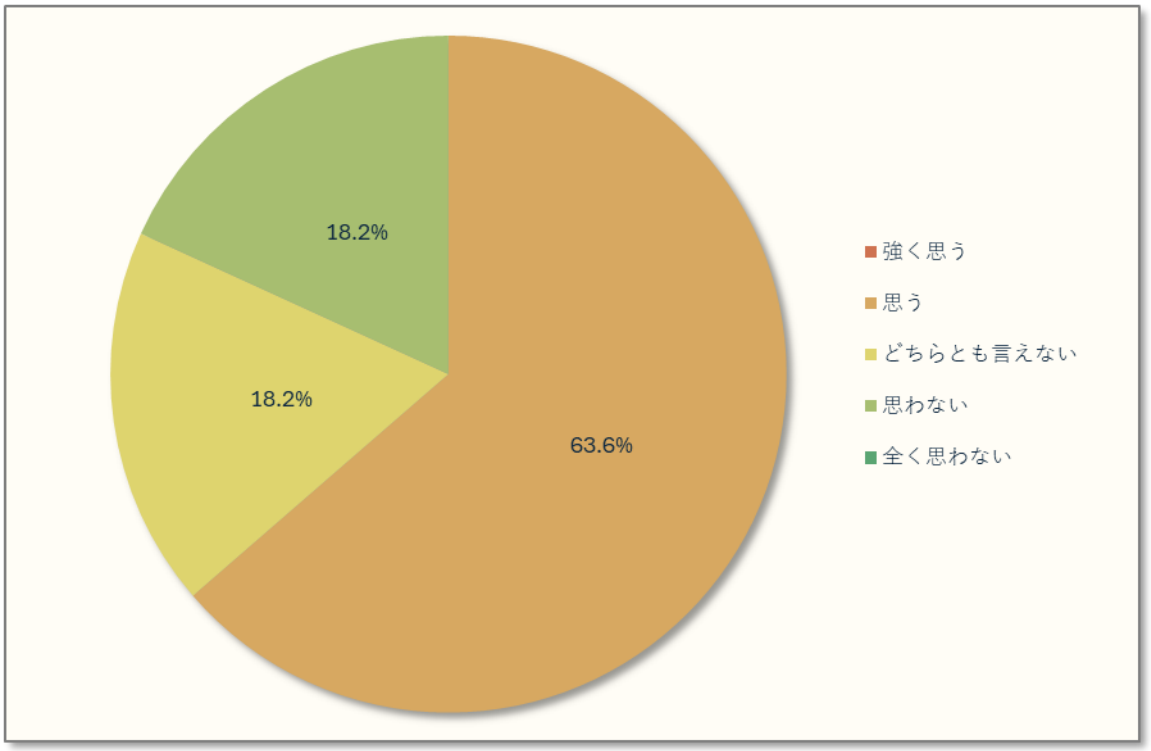
2024 年度卒業時アンケート調査（通信教育課程食物学科）
アンケート実施期間：　2025/3/7(金）～2025/3/26(水)
対象者数：17 名　回答者数：11 名　回答率：64.7%

通信教育課程食物学科の学生として以下のことが身についたと思いますか？［通信教育課程食物学科ＤＰ］

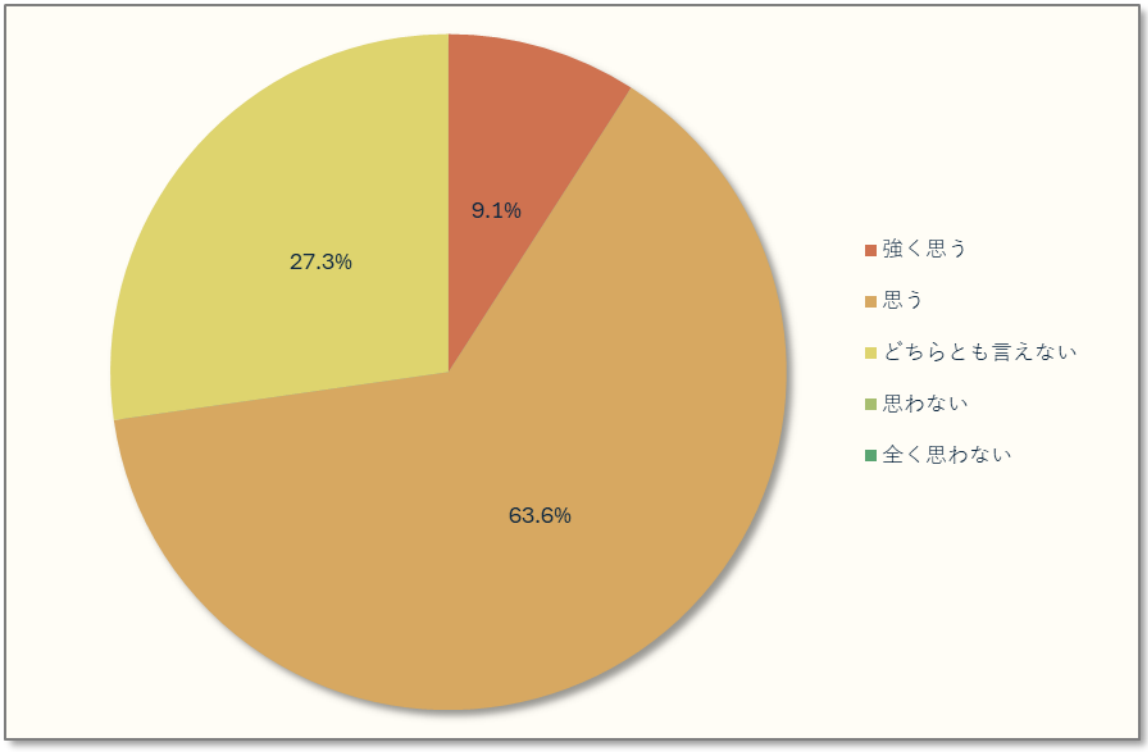
1. **食品、栄養、調理を中心とした食と生活に関わる諸科学を広く学び、それらを問題解決に応用することができる。**



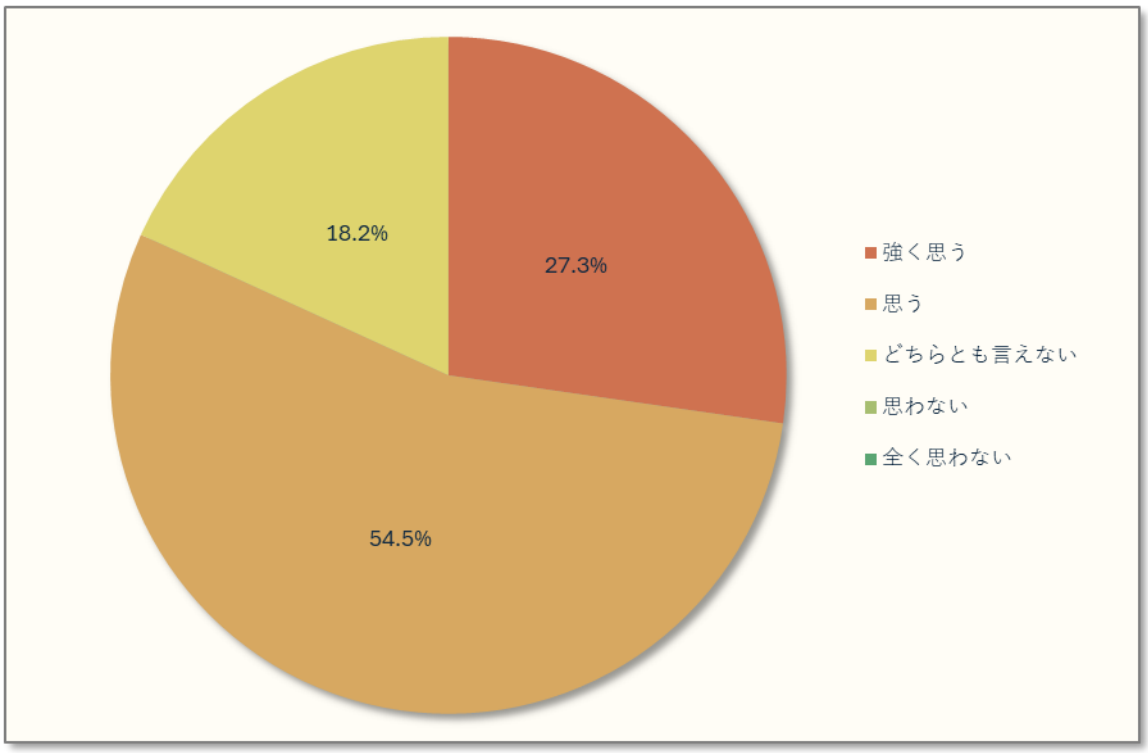
2. **多面的な視点から食物を総合的に理解するスペシャリストとして必要な知識・能力を有する。**



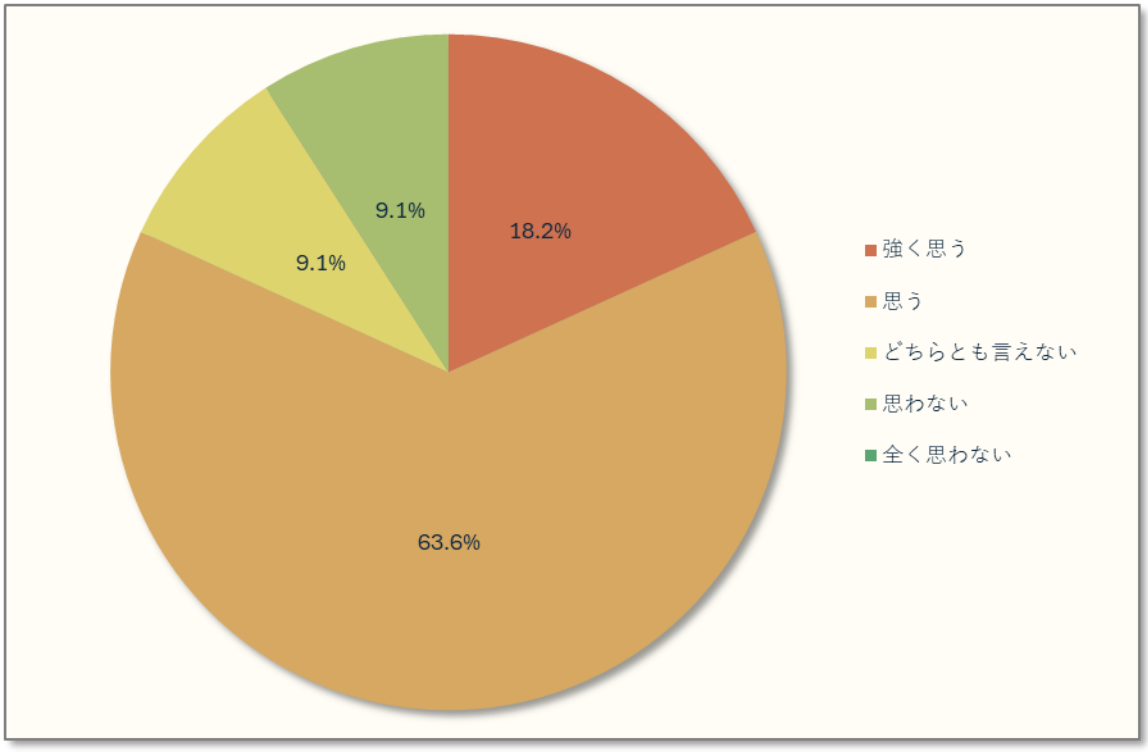
3. 生活や社会といった観点から、食に関する様々な問題をとらえ、正しい科学的知識に基づき、論理的に洞察することができる。



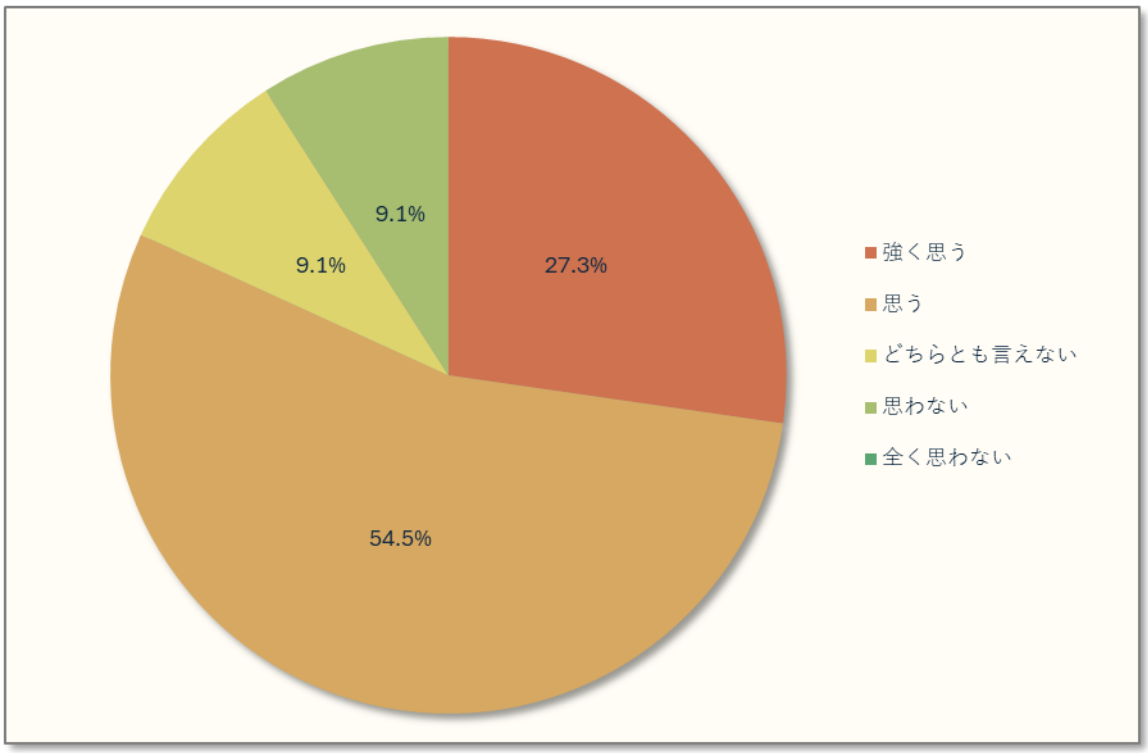
4. 食生活に関する様々な情報に対して、正しい判断ができる。



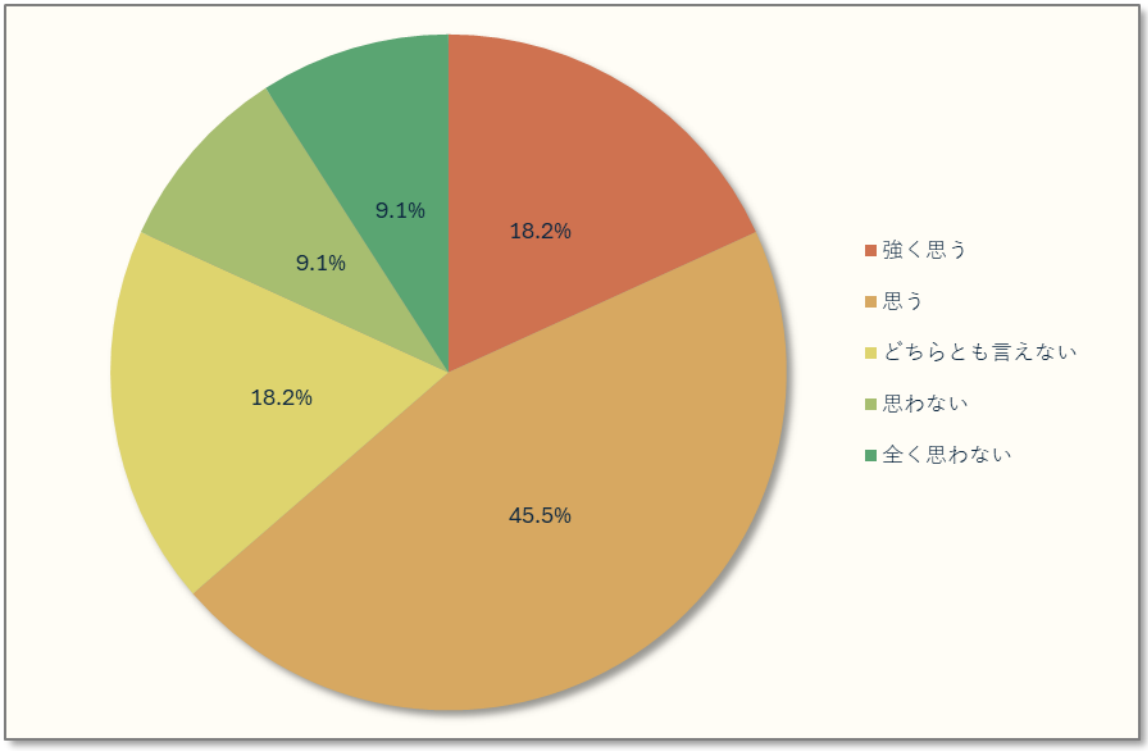
5. 専門分野の知識を生活および社会において人々の健全な食生活の推進と健康の維持増進のために生かして社会に貢献したいという意欲を有する。



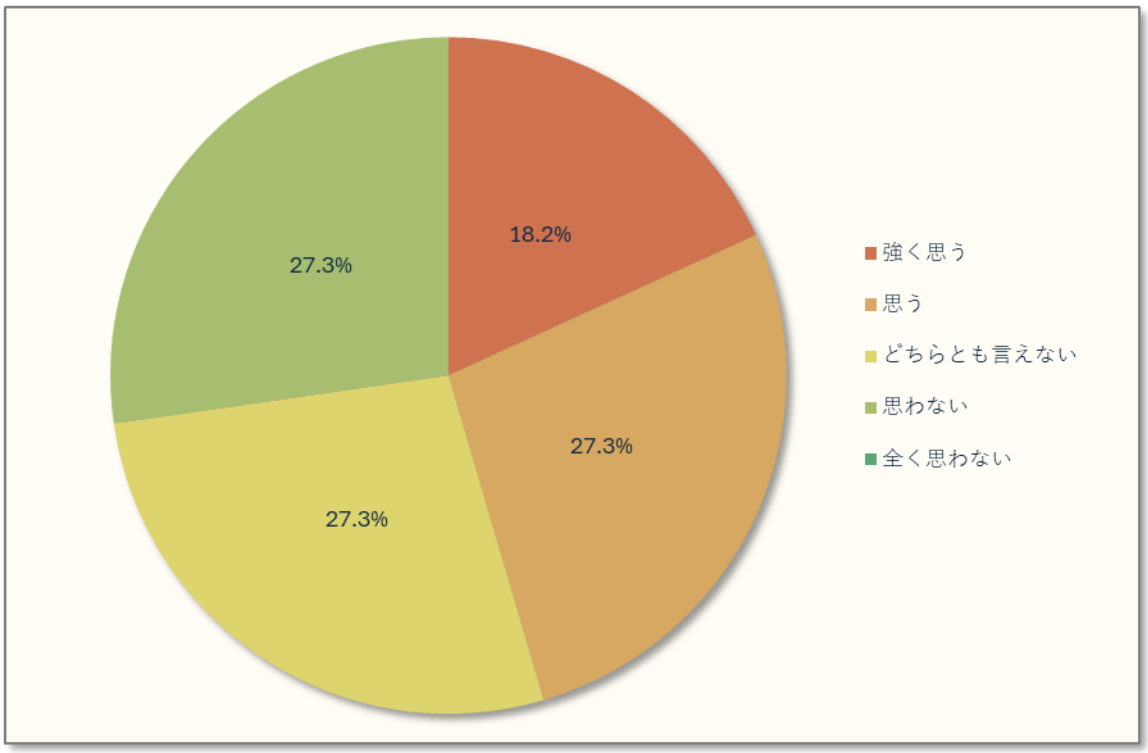
6. 食物の生活や社会に及ぼす影響や効果を説明でき、食に関する様々な問題の解決に積極的な姿勢を有する。



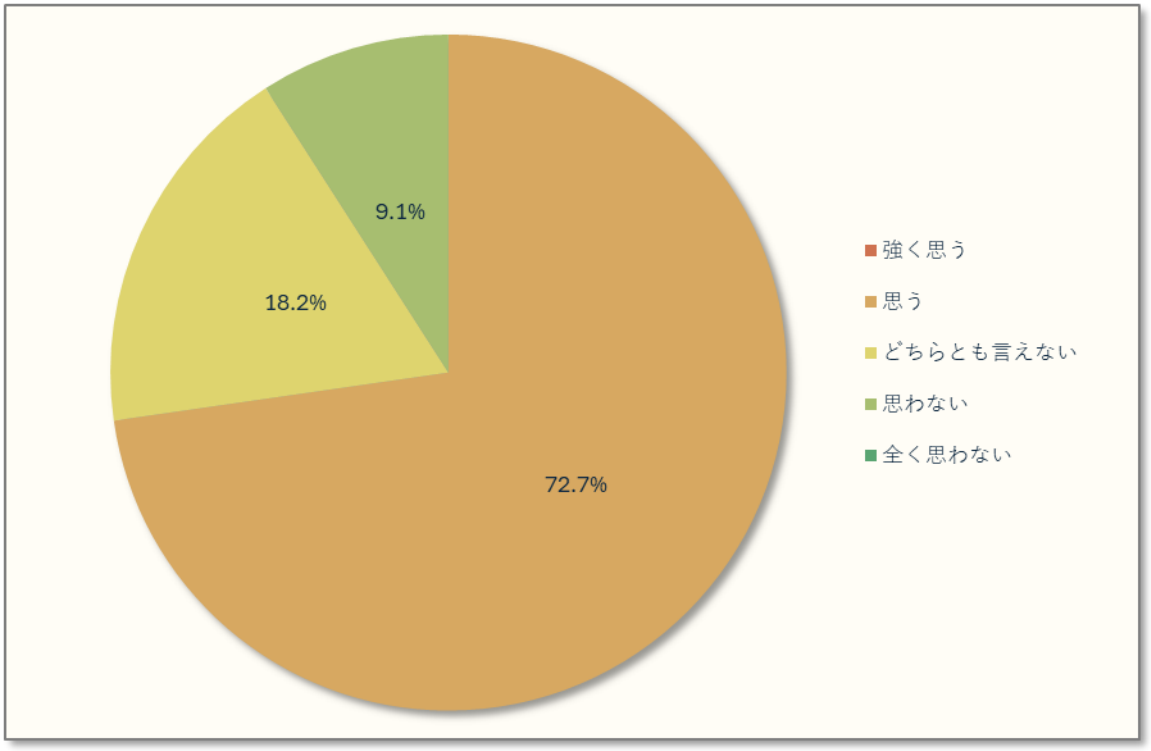
7. 様々な考えの人と協働し、食生活の改善に取り組める。



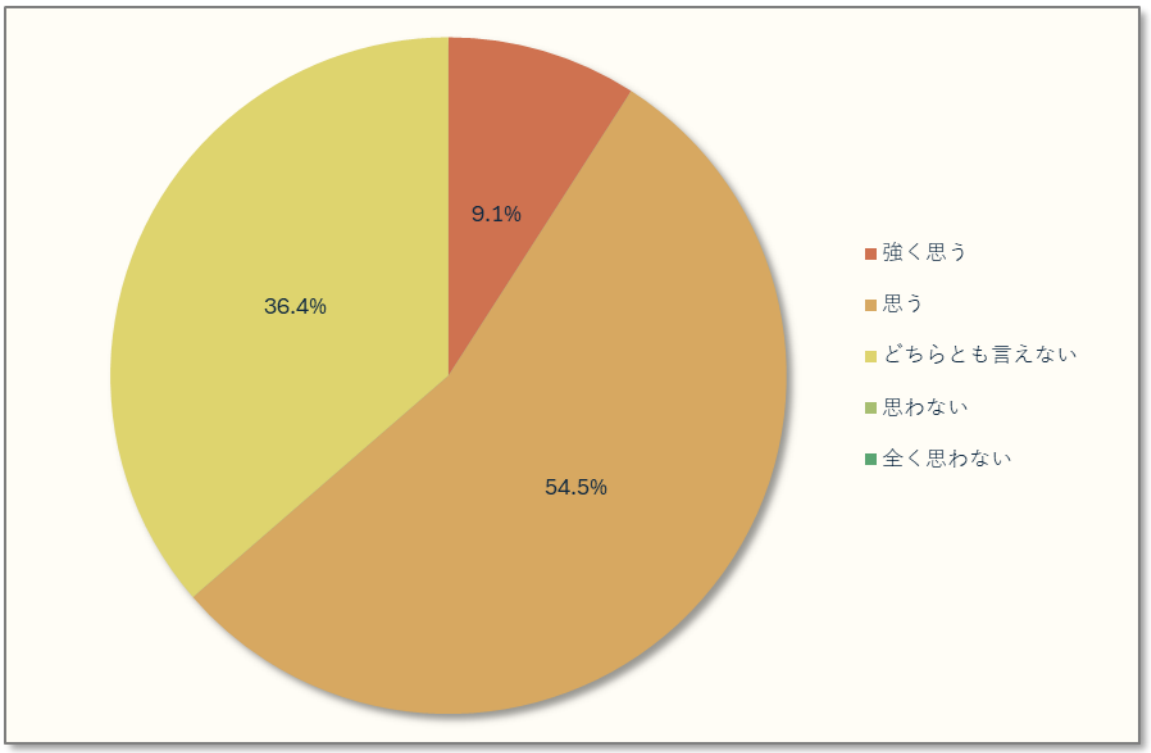
8. 食品、調理、栄養、医学に関する諸科学、技術及び情報を利用して、社会の要求を解決するために創造し、表現することができる。



9. 論理的に記述し、的確に表現することができる。

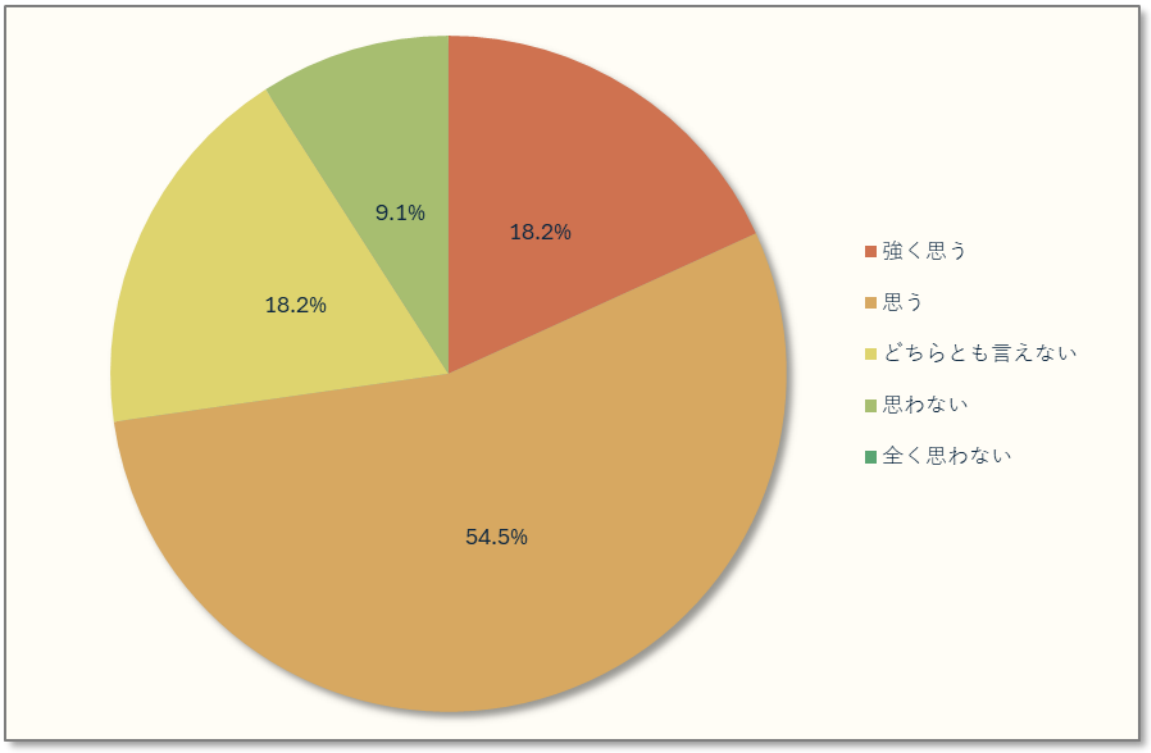


10. 自分の考えを分かりやすく発表することができる。

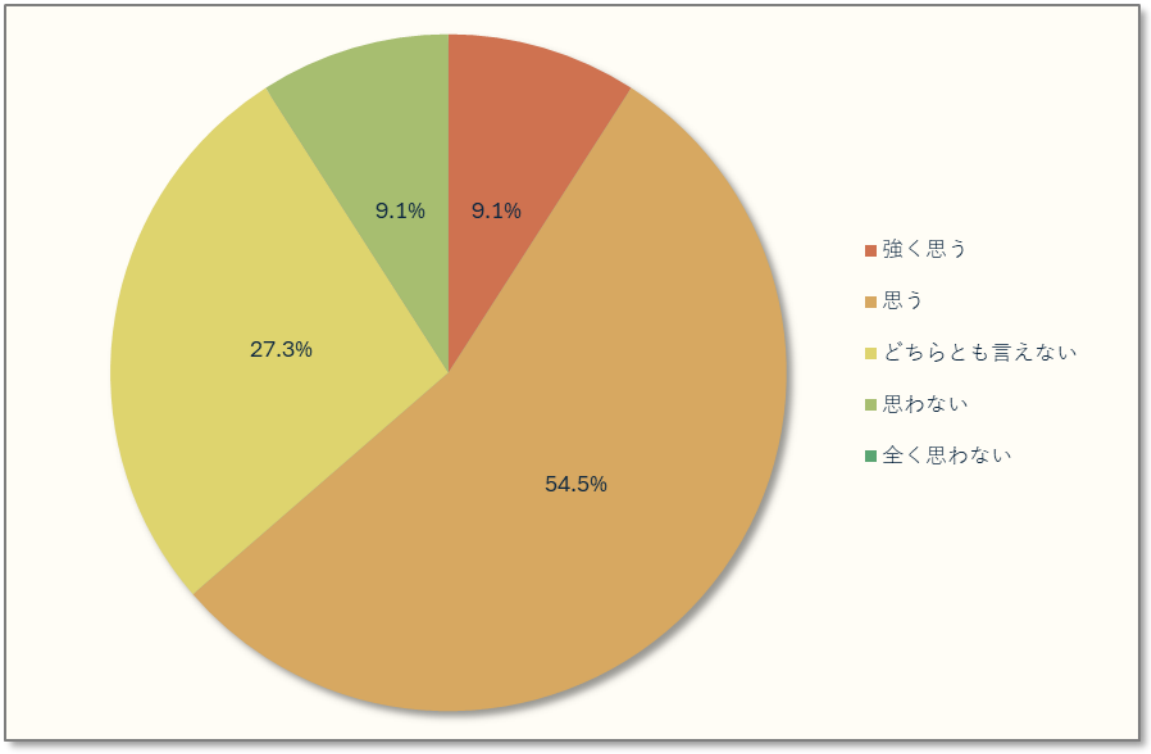


家政学部通信教育課程の学生として以下のことが身についたと思いますか？　［家政学部通信教育課程DP］

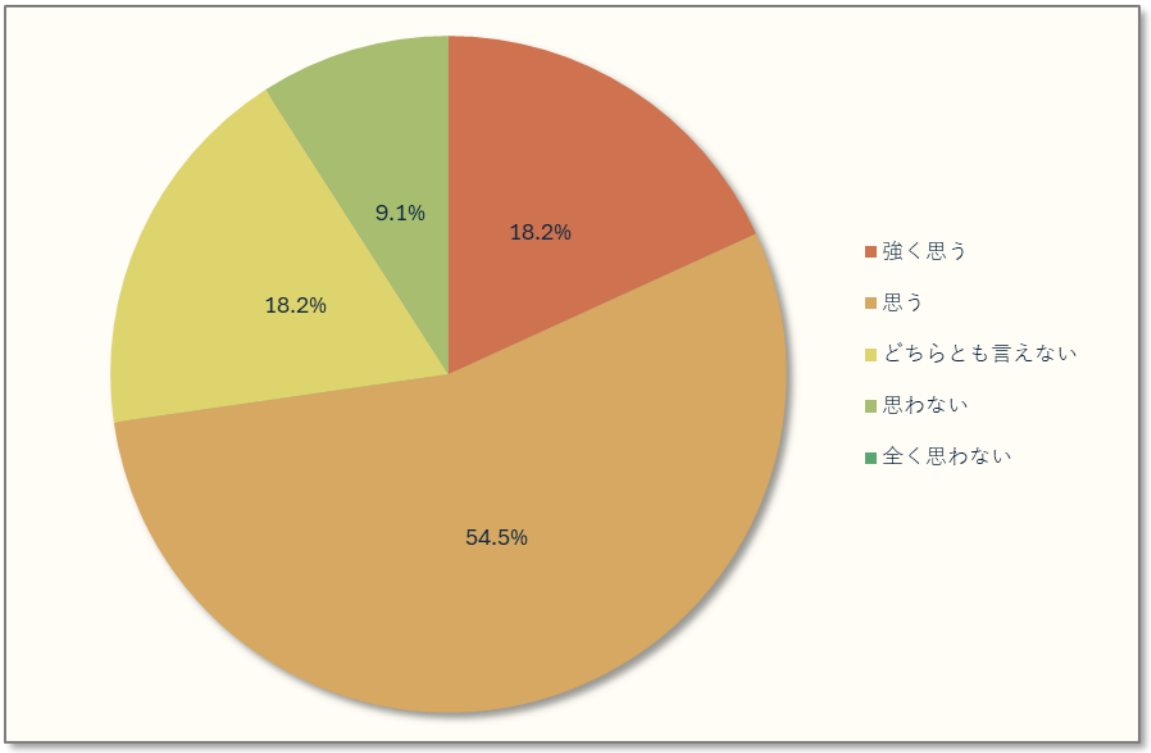
11. 人間生活を科学的かつ実践的に考察することができる。



12. 生活そのものが持つ総合性を理解し、専門的知識を持って社会に貢献することができる。

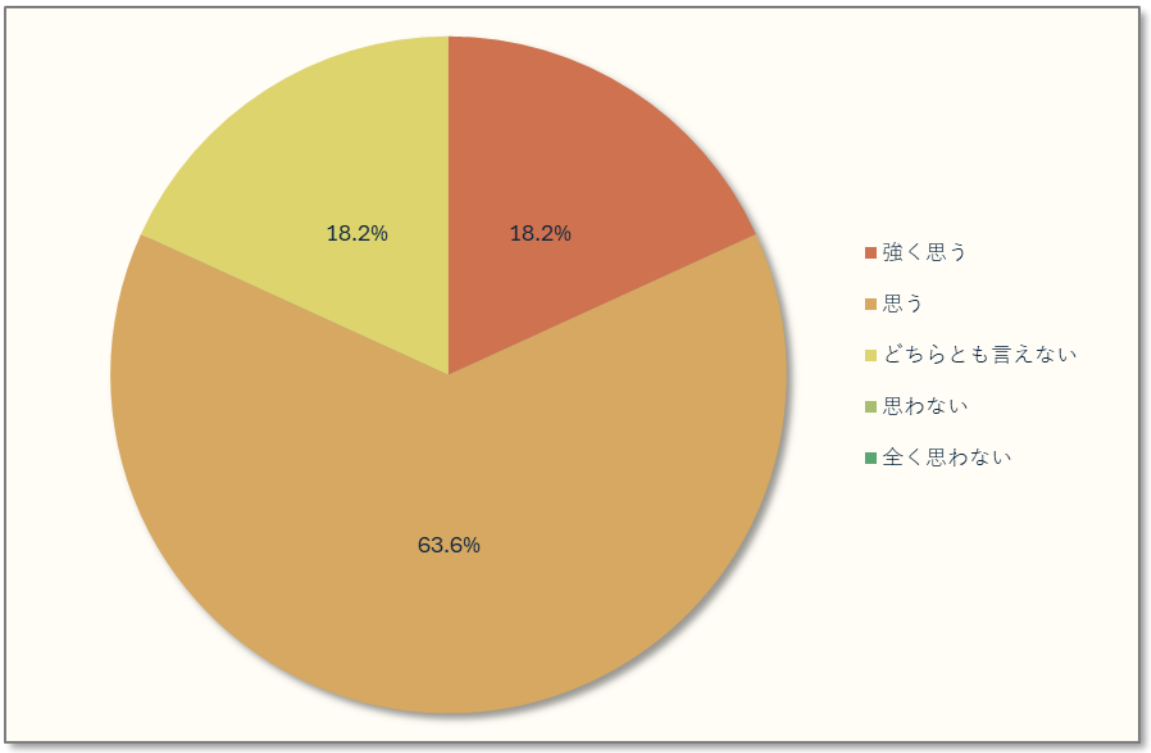


13. 現実の生活を客観的に把握し、自ら問題を発見し、様々な人と協働して解決していくことができる。

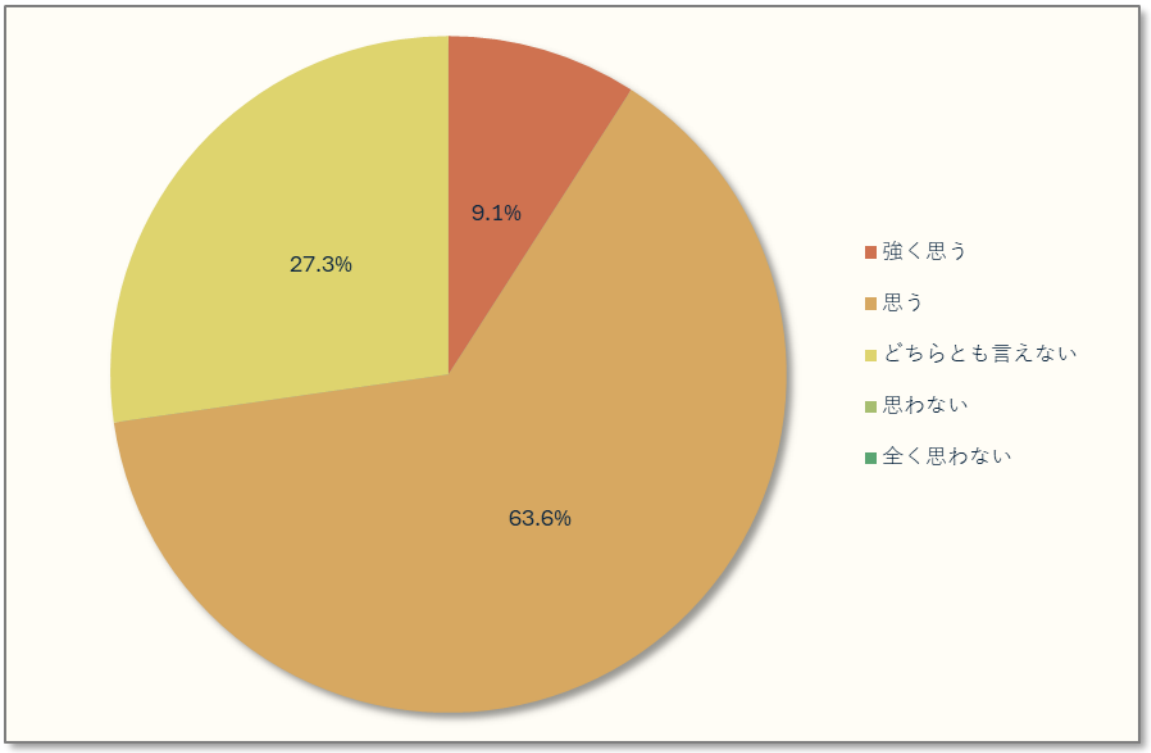


日本女子大学の学生として以下のことが身についたと思いますか？［大学ＤＰ］

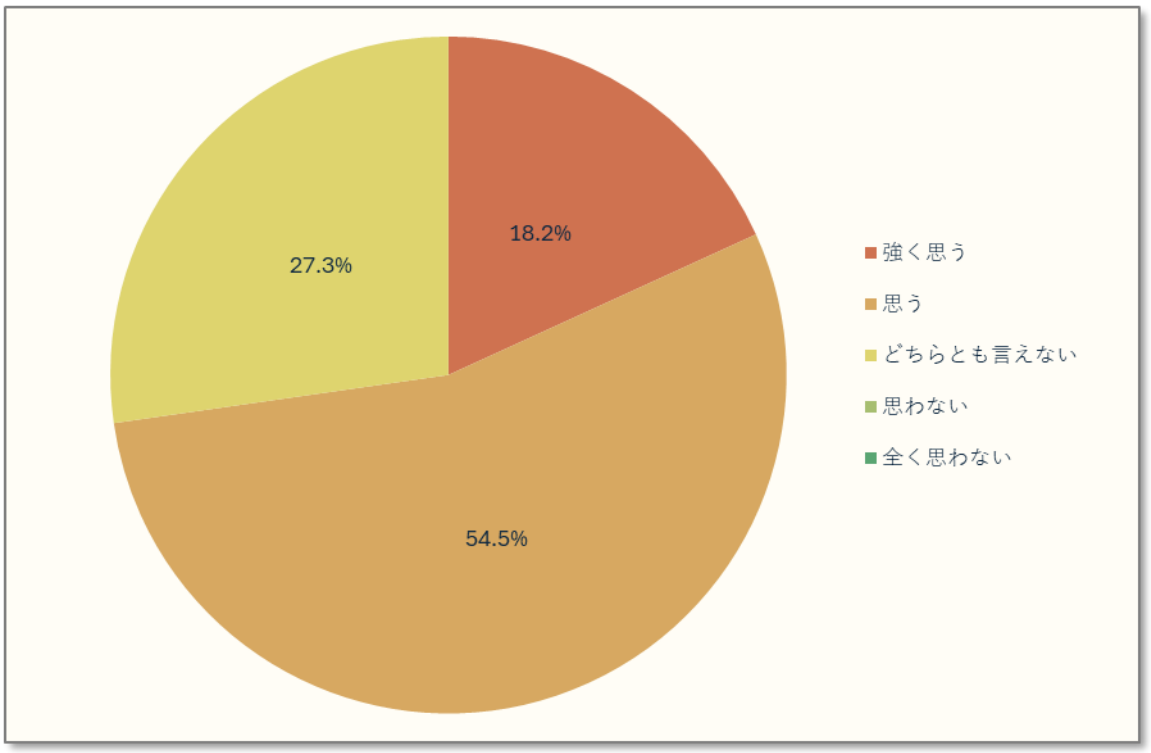
14. 建学の精神を理解し、ひとりの人間として、女性として、国際社会の一員として、自立することができる。



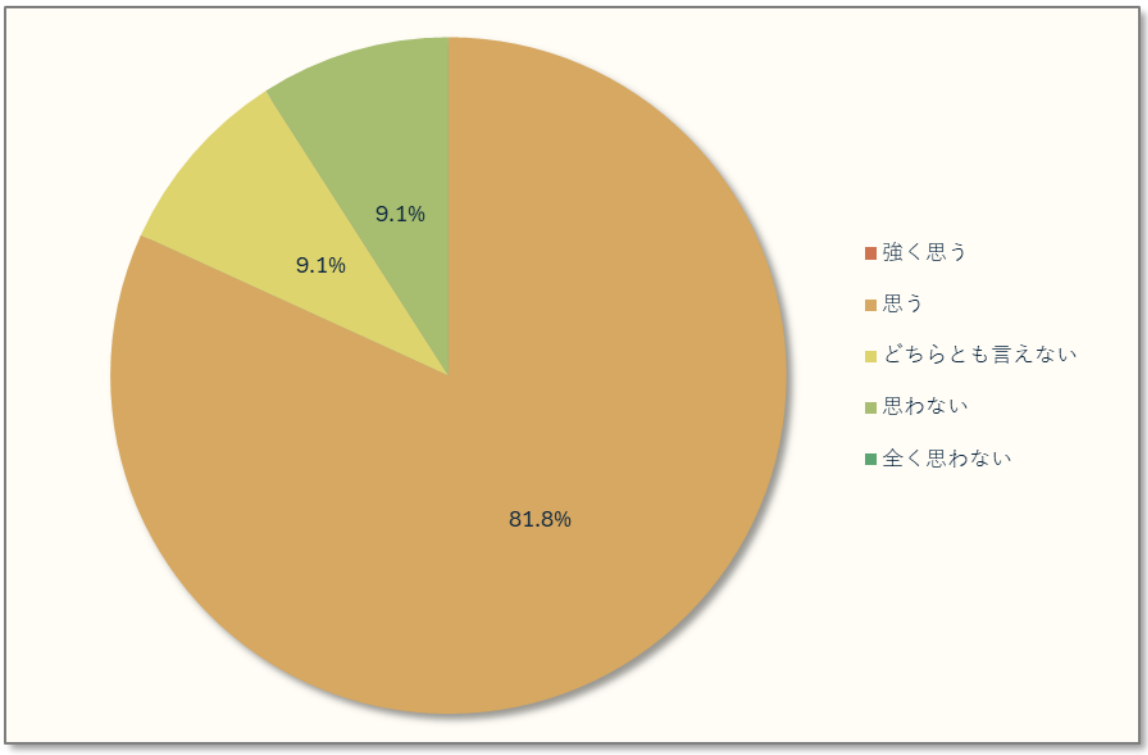
15. 強い信念を持ち自らの人生を切り拓いていくことができる。



16. 自ら新たな課題を発見し、専門的知識と教養教育により培われた知性と感性によって課題の解決に努めることができる。

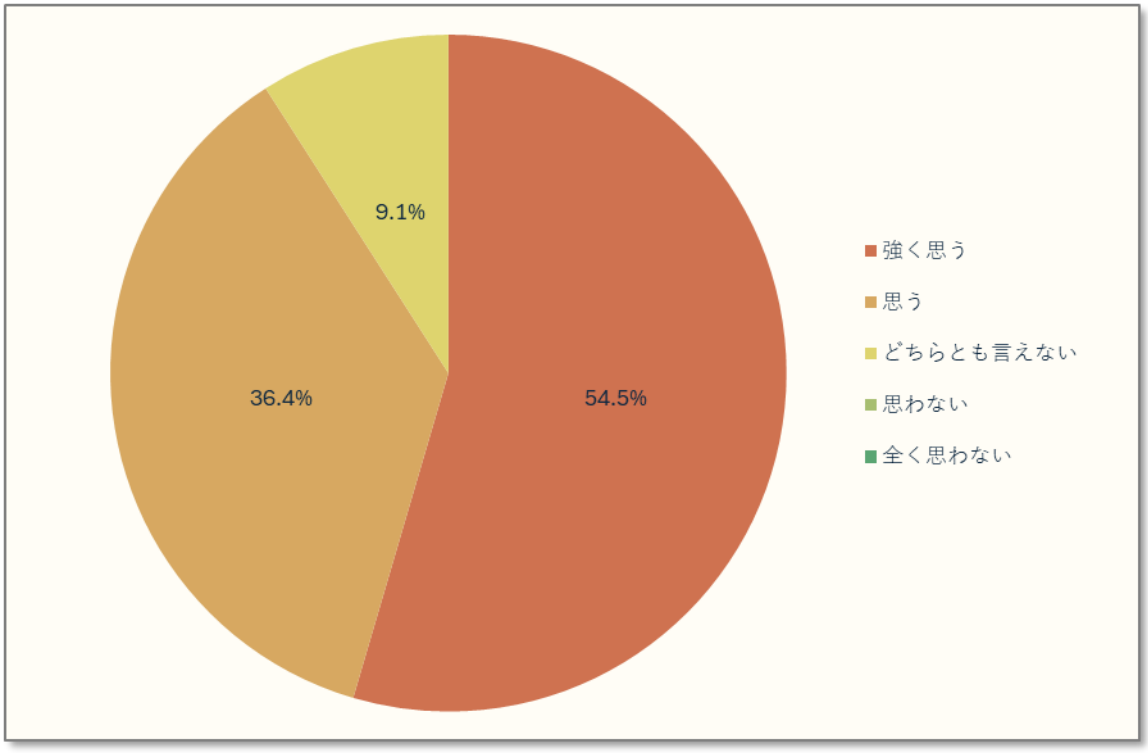


17. 他者に対する共感の気持ちを持ち、まわりの人々と円滑なコミュニケーションをはかって、共同でよりよい社会を築くことができる。

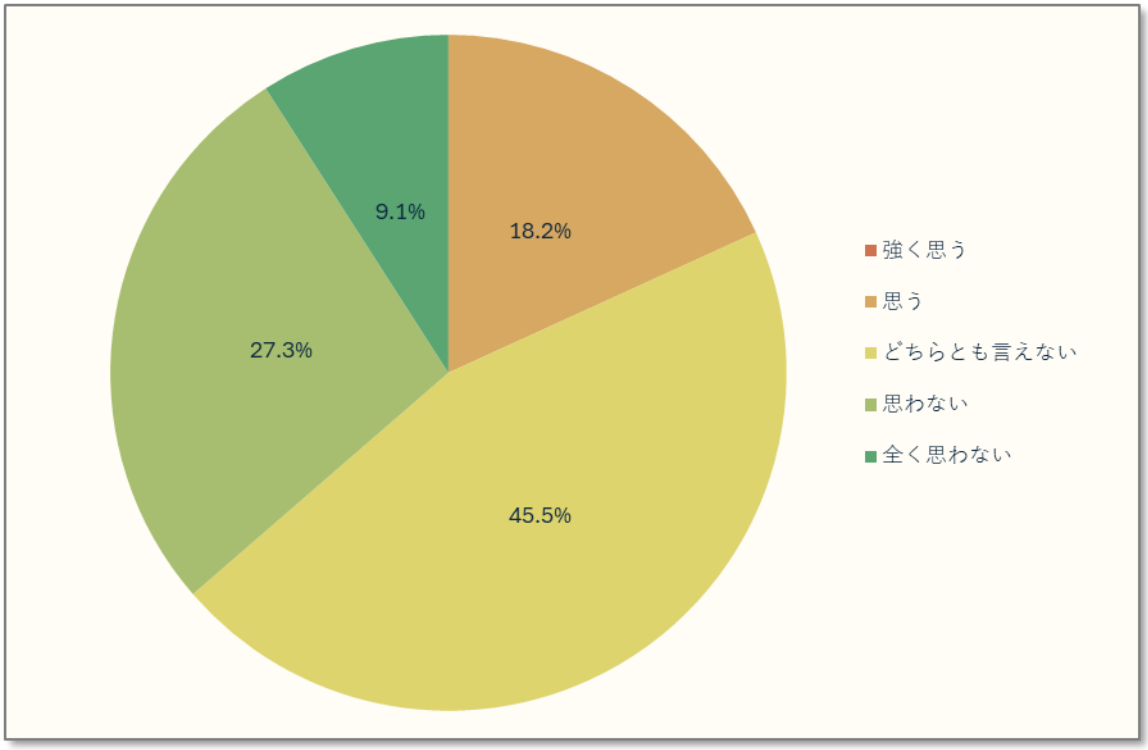


本学卒業にあたっての満足度について伺います。

18. 日本女子大学で学んで良かったと思いますか？



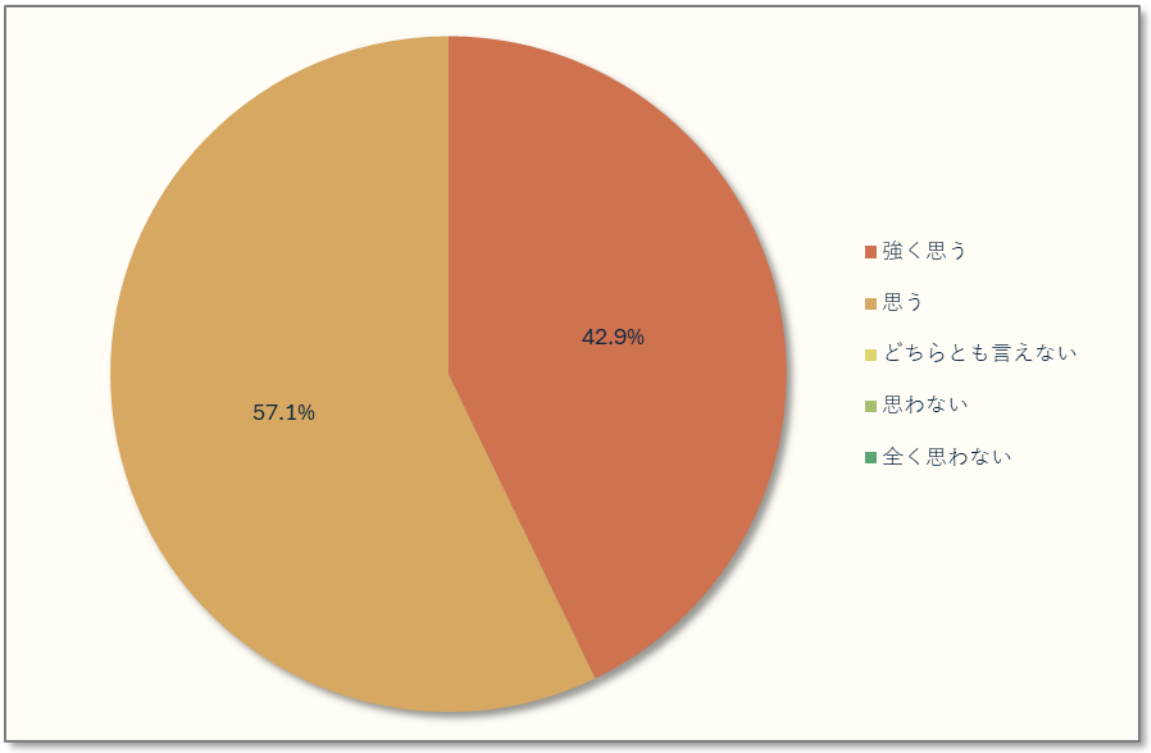
19. 学生生活に関する大学の支援体制（修学支援、キャリア支援、生活支援（心身の健康相談等））は、あなたにとって適切だったと思いますか？



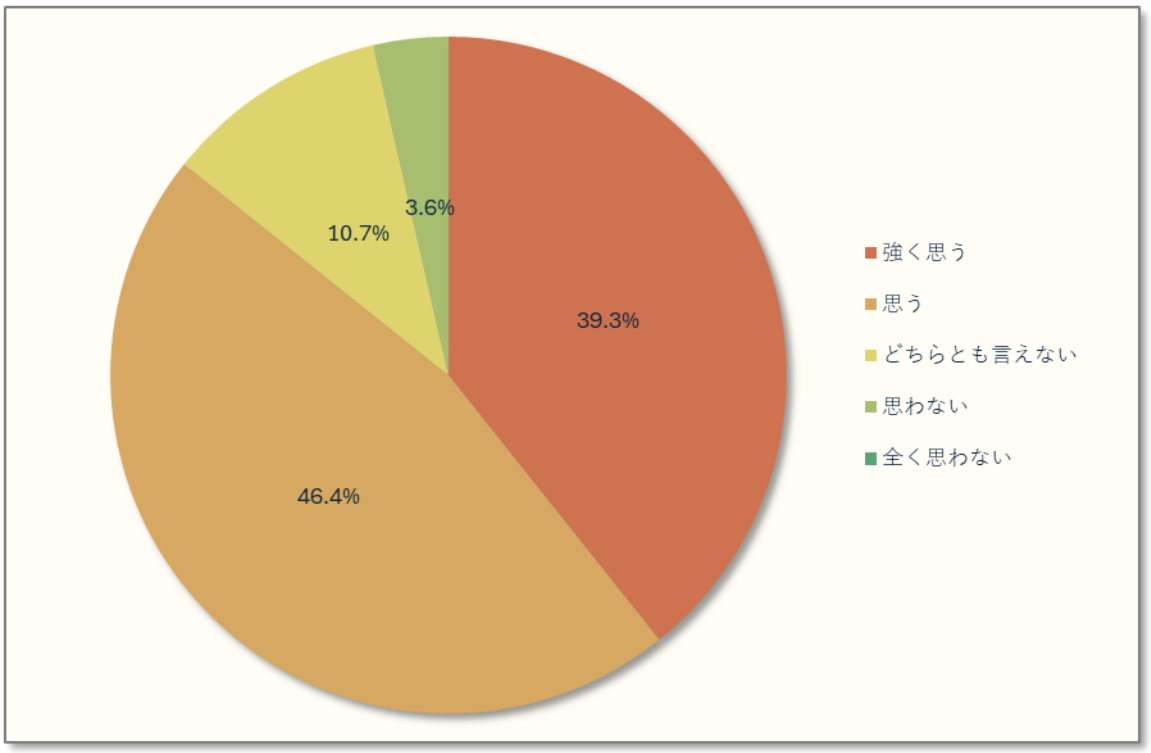
2024 年度卒業時アンケート調査（通信教育課程生活芸術学科）
アンケート実施期間：　2025/3/7(金）～2025/3/26(水)
対象者数：41 名　回答者数：28 名　回答率：68.3%

通信教育課程生活芸術学科の学生として以下のことが身についたと思いますか？［通信教育課程生活芸術学科ＤＰ］

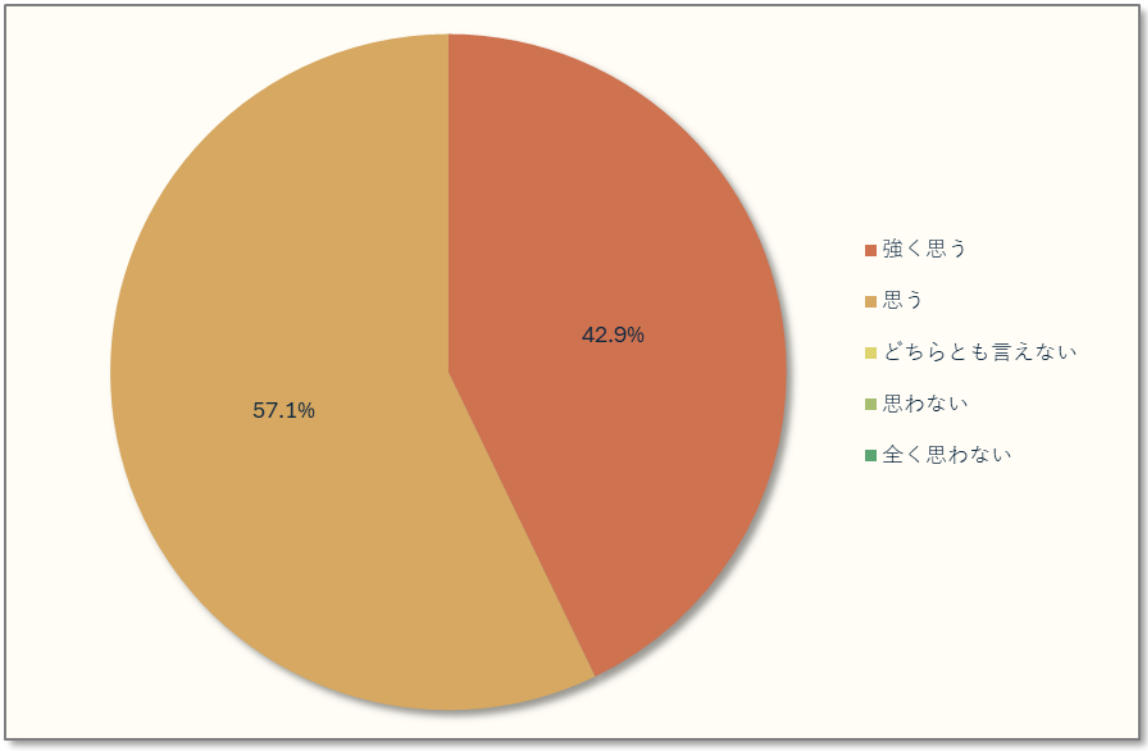
1. **科学的・文化的・芸術的な広い側面から生活の質の向上に役立つ、被服学と住居学の基礎並びに関連諸分野の知識を習得している。**



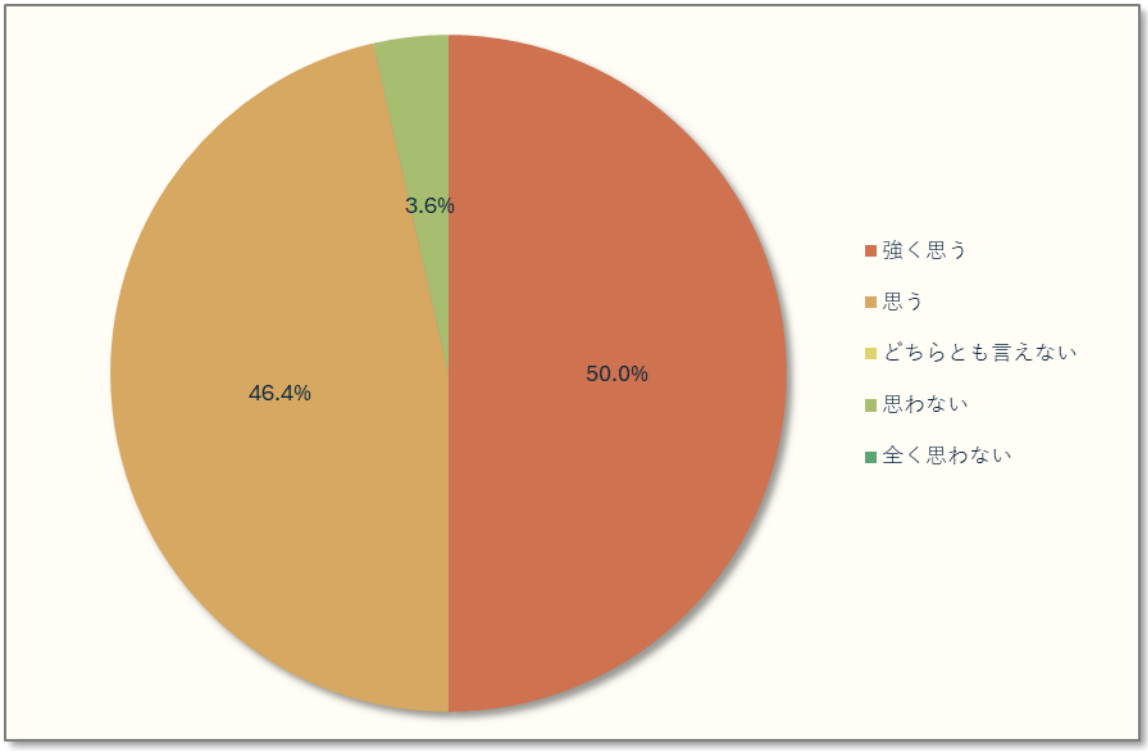
2. **文化的、芸術的視点から独自の感性や美意識を深められる。**



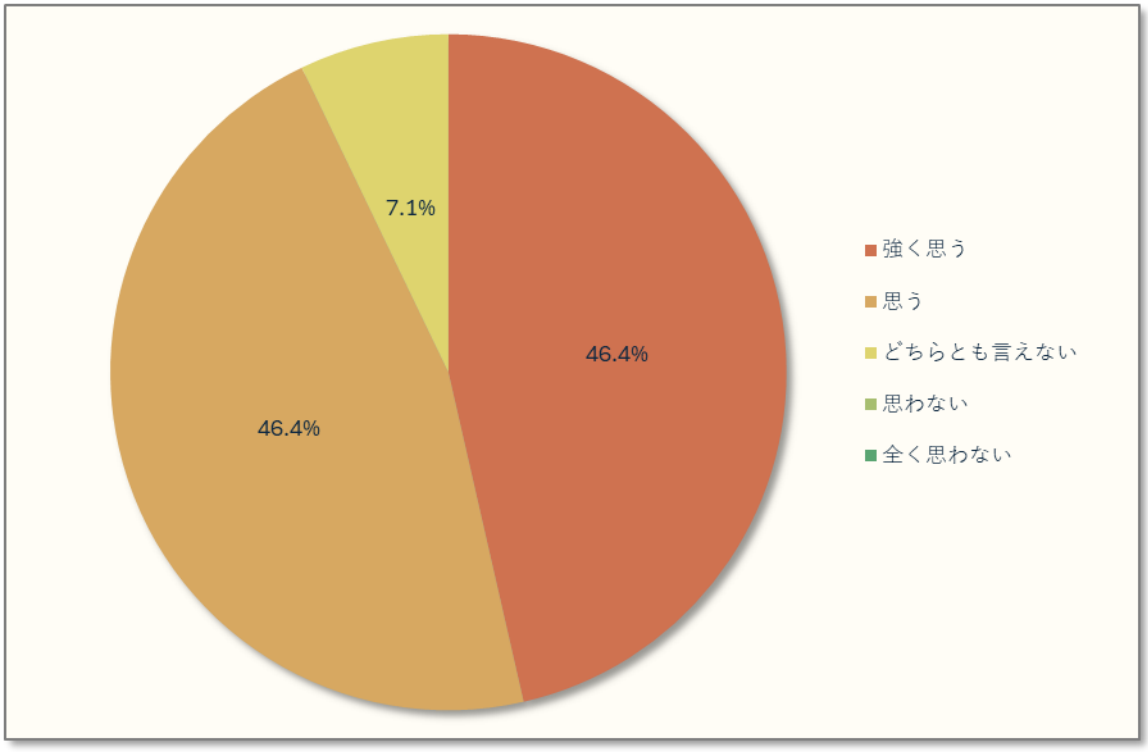
3. 生活の変化や多様化を敏感に捉えて、快適な生活環境の方向性を判断できる。



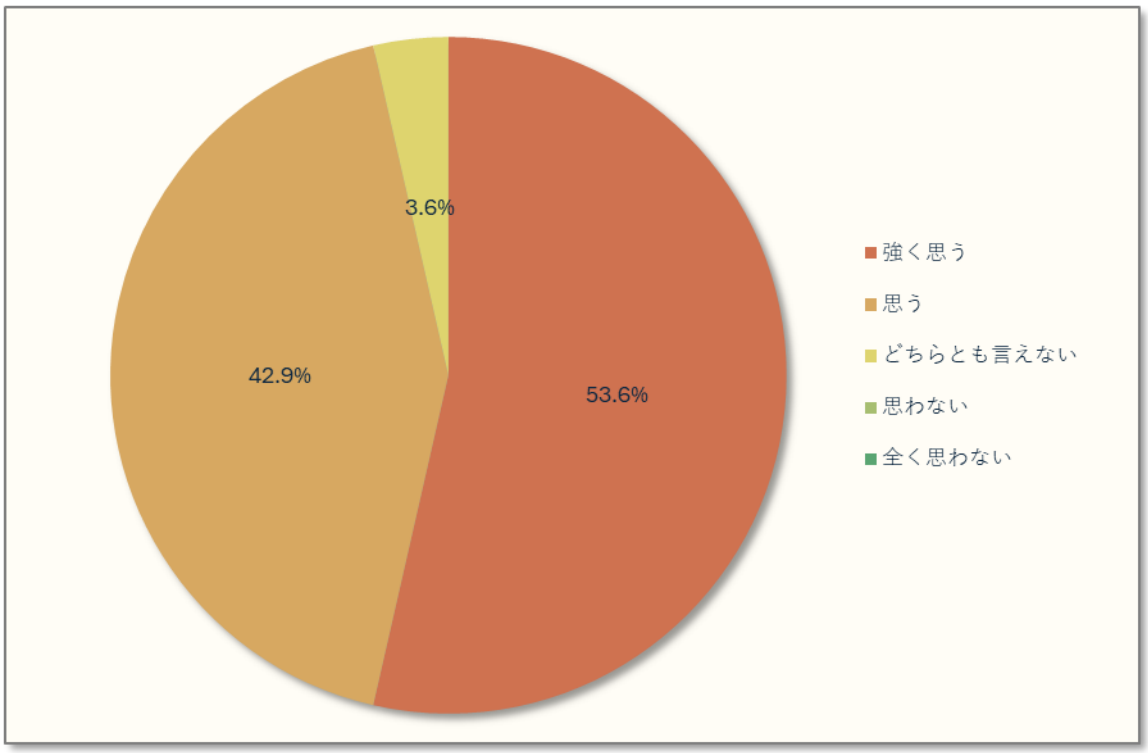
4. 衣生活・住生活の質の向上に関心を持ち、社会における自らの役割と責任を自覚できる。



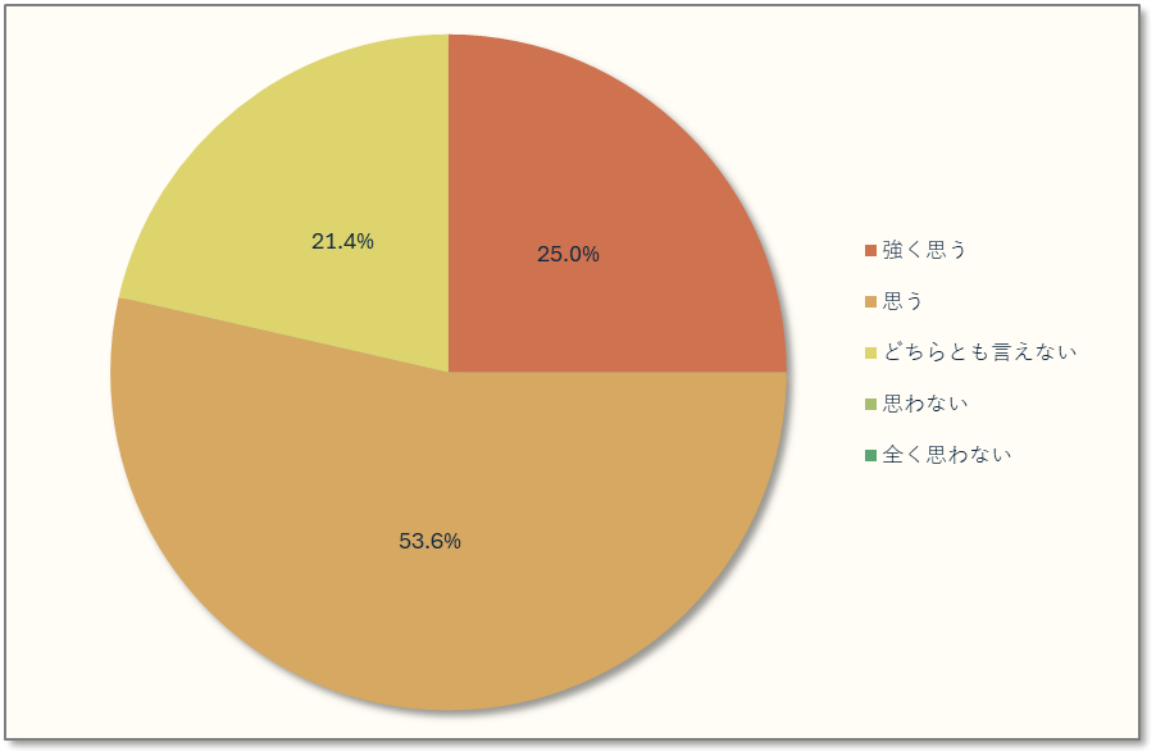
5. 衣生活や住生活環境をライフスタイル、安全性、快適性などから多角的に捉えて、様々な人々とのコミュニケーションや協働が意欲的に行える。



6. 快適な生活や環境の実現に向けて、具体的な方法や工夫を反映できる。

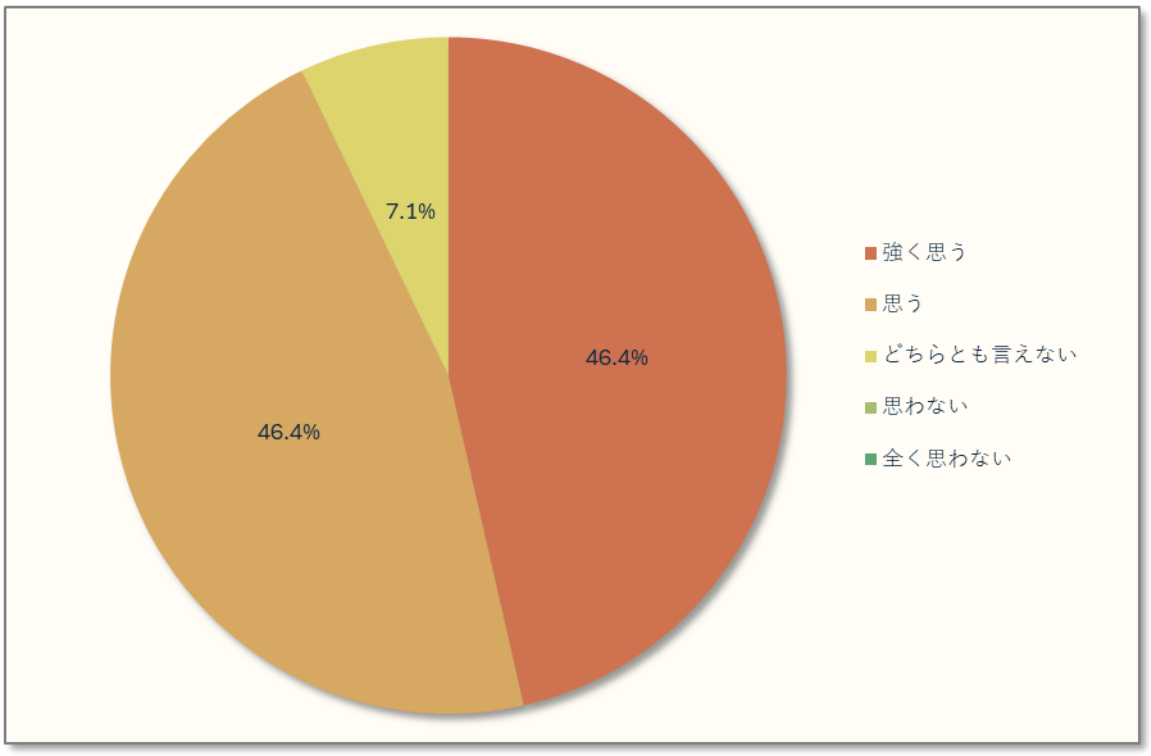


7. 提案や成果物を他者にわかりやすく表現し説明できる。

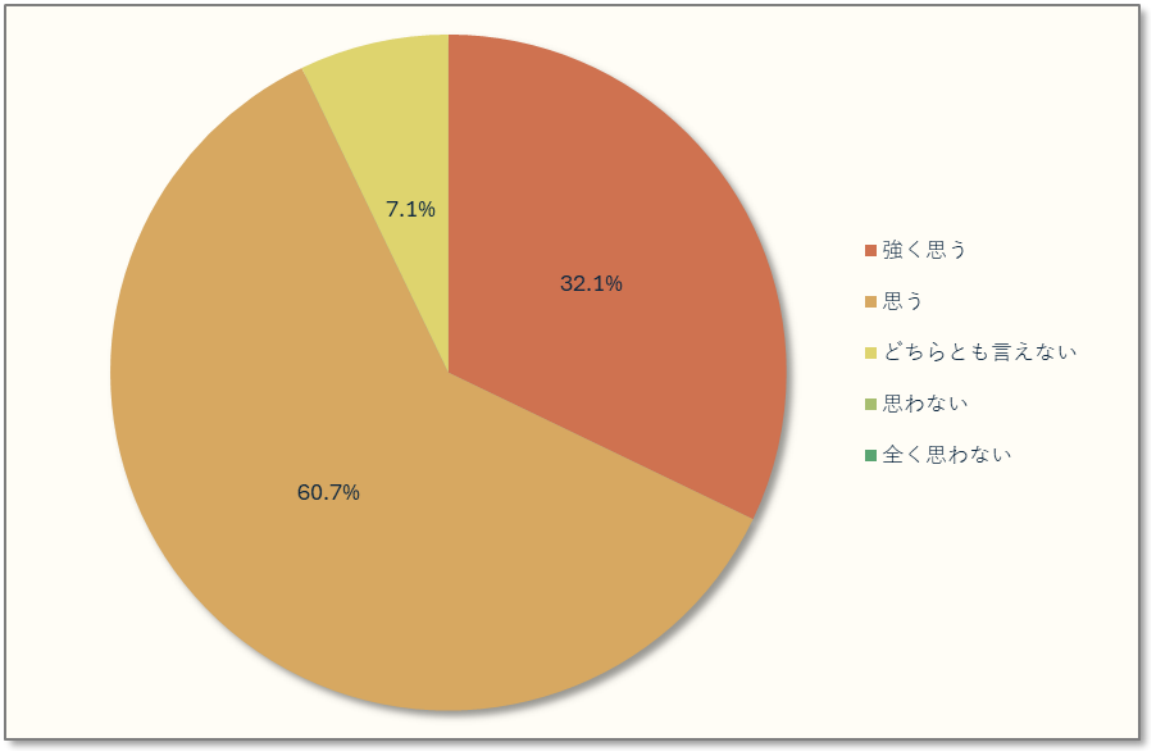


家政学部通信教育課程の学生として以下のことが身についたと思いますか？ ［家政学部通信教育課程DP］

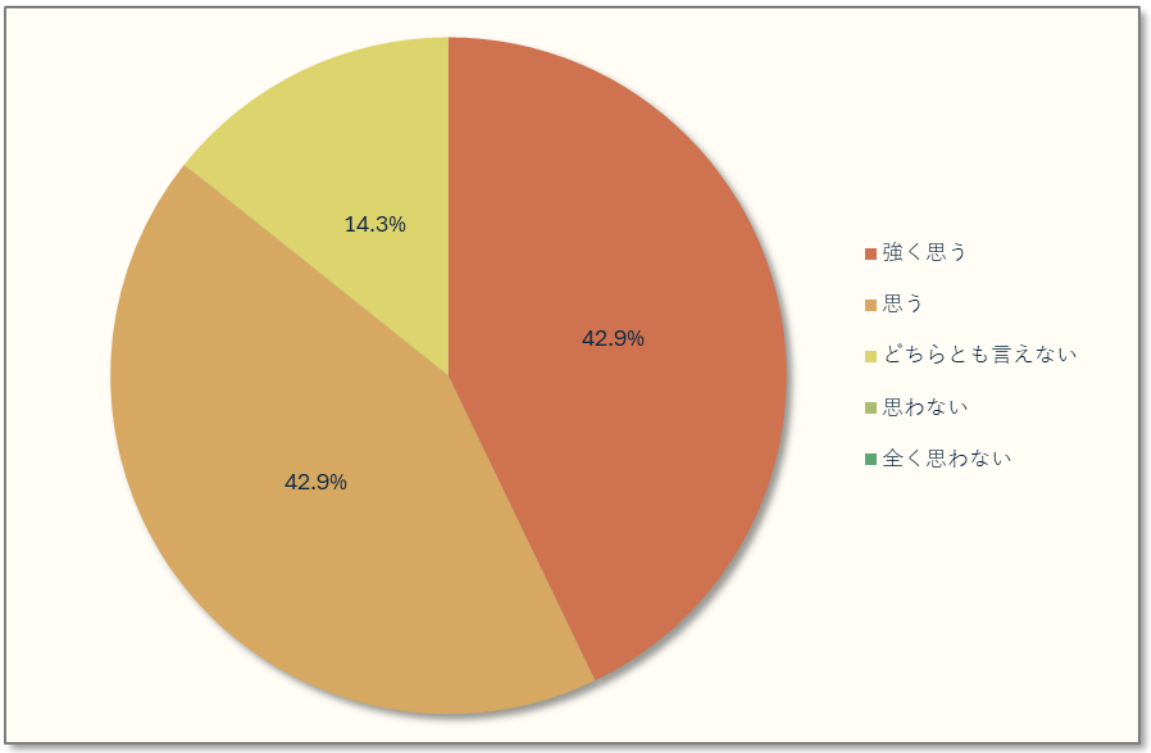
8. 人間生活を科学的かつ実践的に考察することができる。



9. 生活そのものが持つ総合性を理解し、専門的知識を持って社会に貢献することができる。

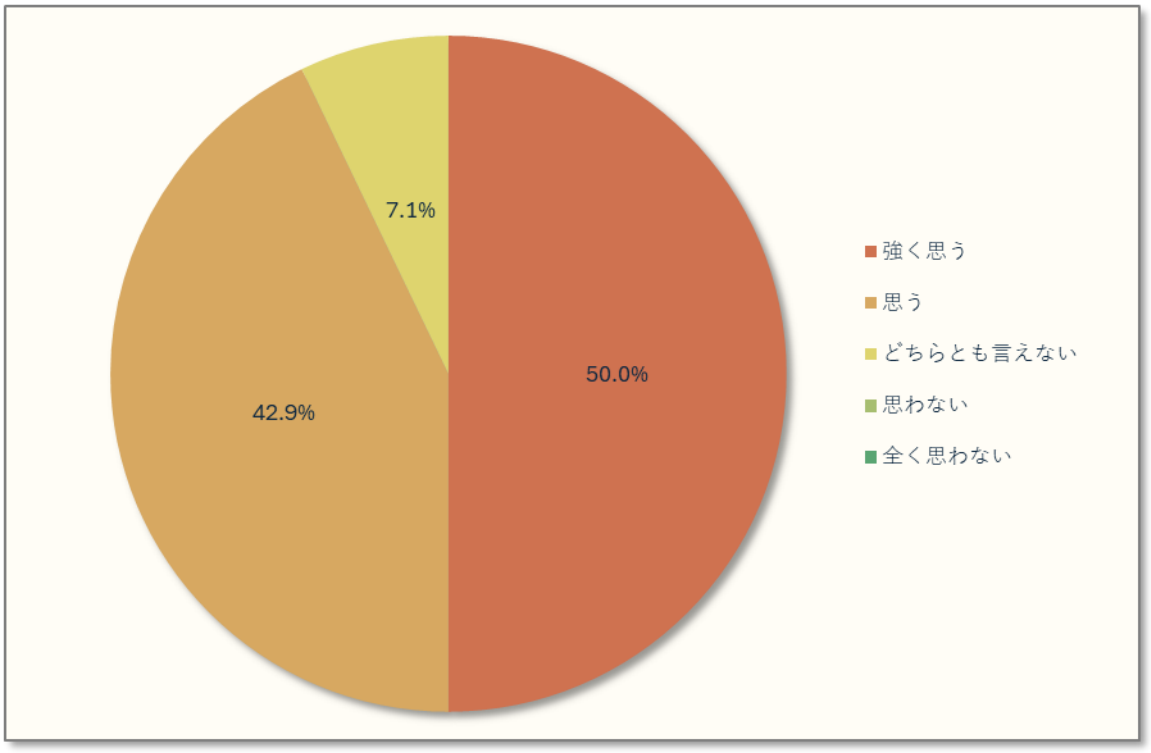


10. 現実の生活を客観的に把握し、自ら問題を発見し、様々な人と協働して解決していくことができる。

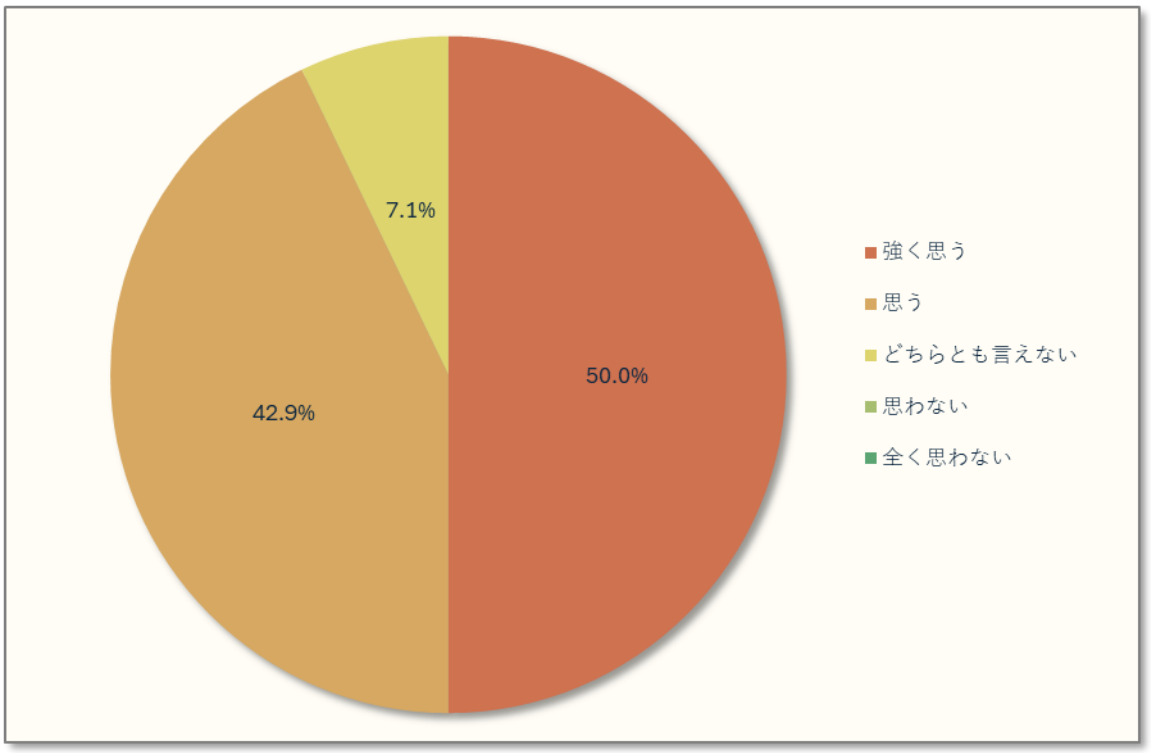


日本女子大学の学生として以下のことが身についたと思いますか？［大学ＤＰ］

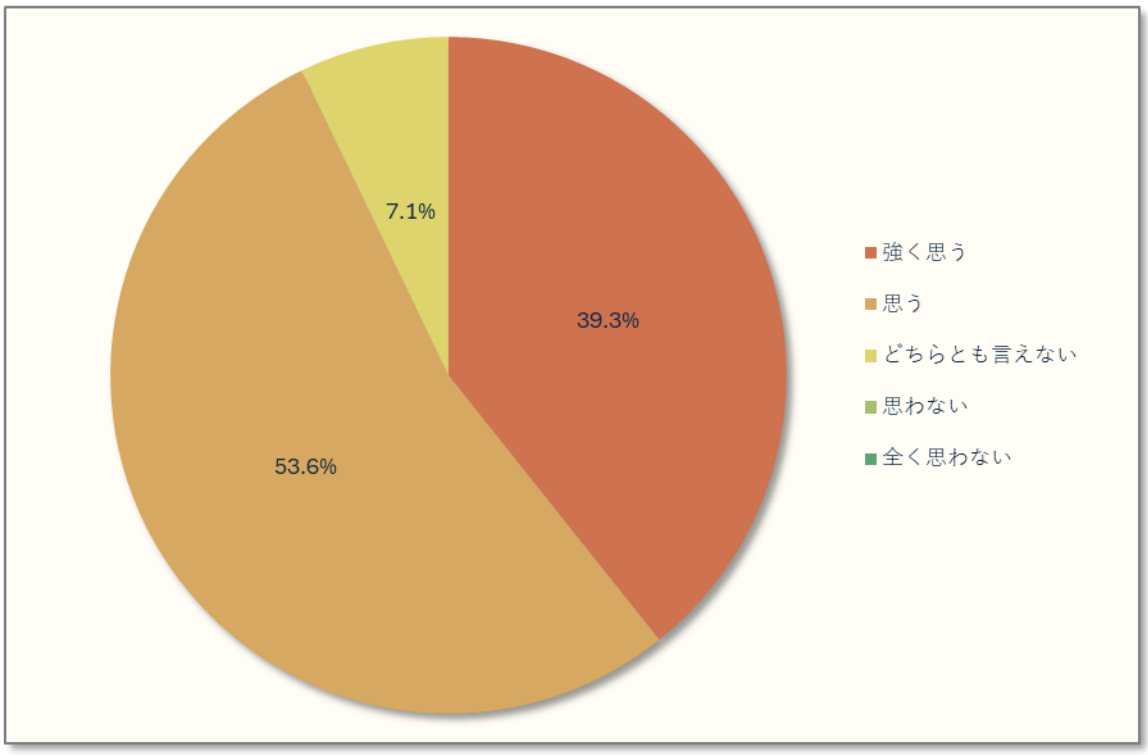
11. 建学の精神を理解し、ひとりの人間として、女性として、国際社会の一員として、自立することができる。



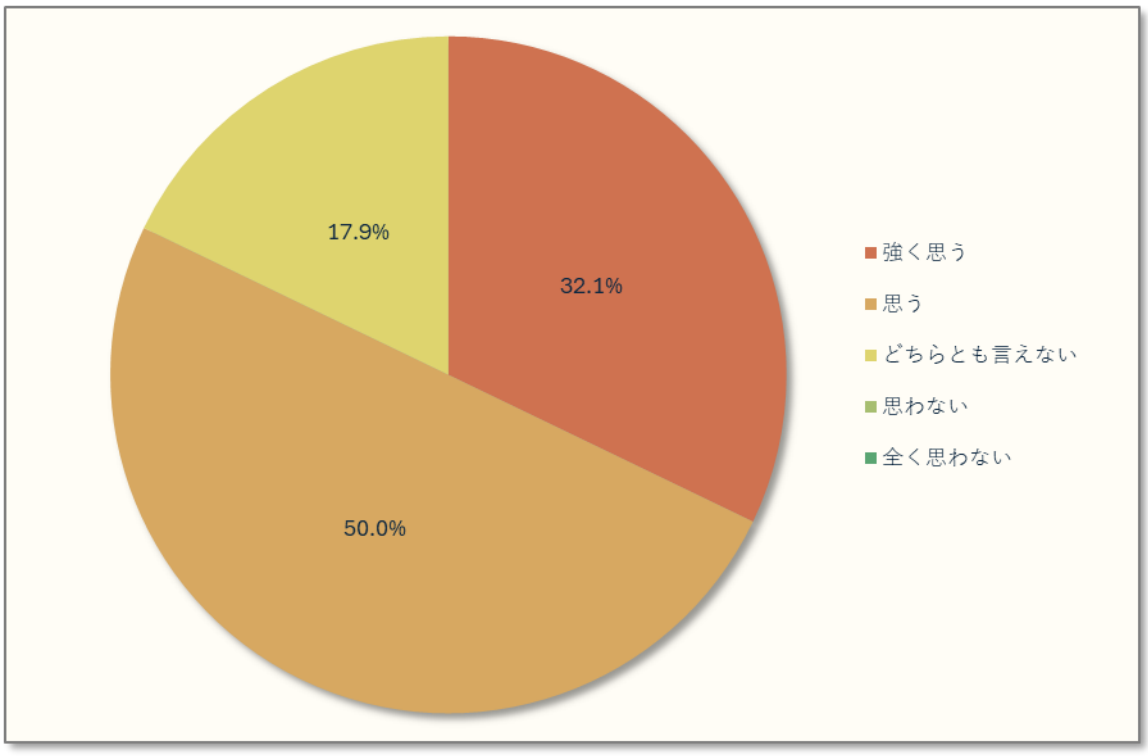
12. 強い信念を持ち自らの人生を切り拓いていくことができる。



13. 自ら新たな課題を発見し、専門的知識と教養教育により培われた知性と感性によって課題の解決に努めることができる。

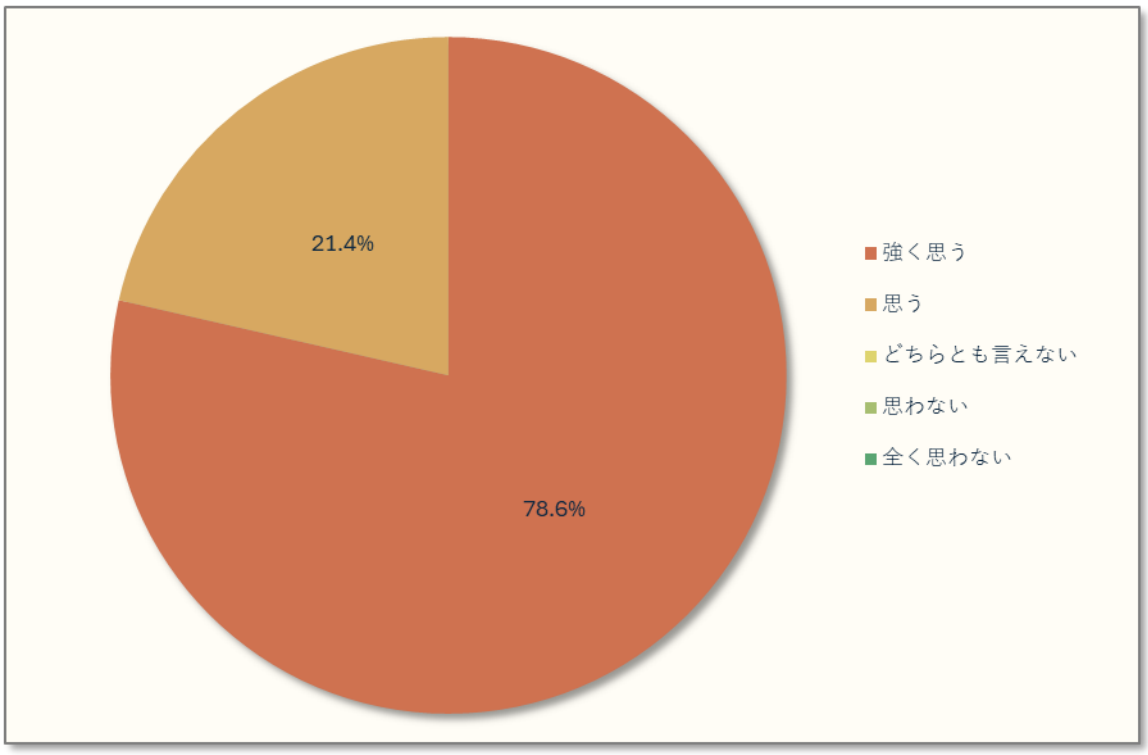
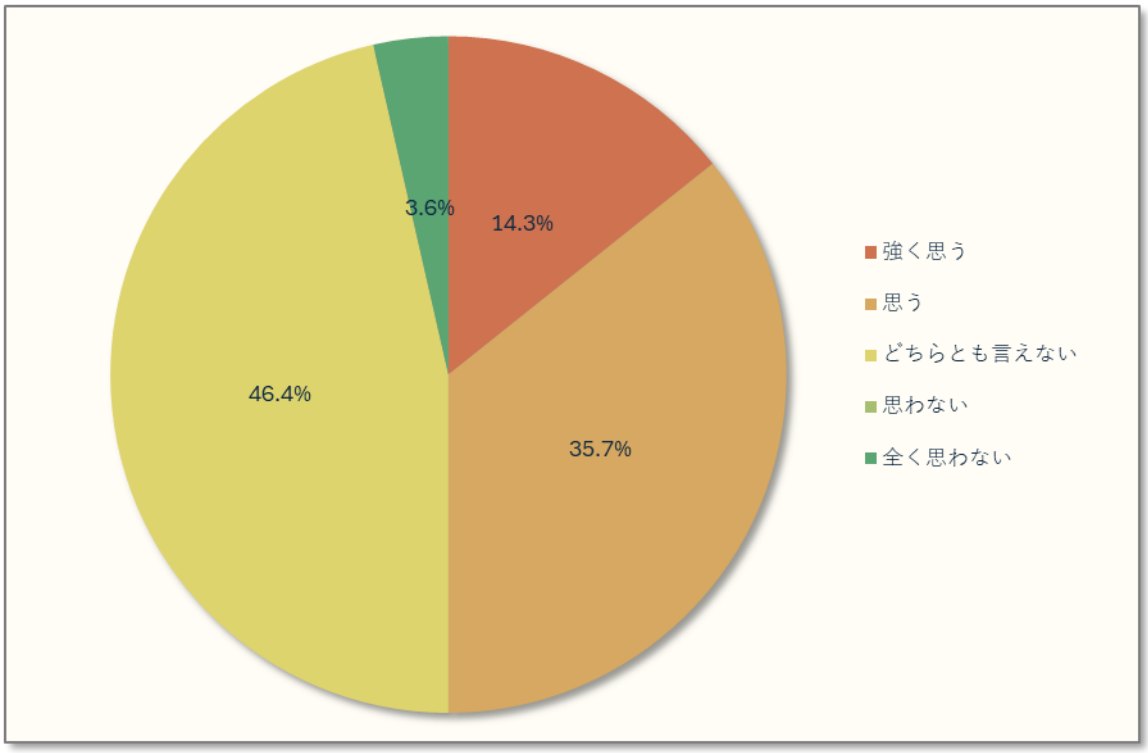


14. 他者に対する共感の気持ちを持ち、まわりの人々と円滑なコミュニケーションをはかって、共同でよりよい社会を築くことができる。



本学卒業にあたっての満足度について伺います。

15. 日本女子大学で学んで良かったと思いますか？



16. 学生生活に関する大学の支援体制（修学支援、キャリア支援、生活支援（心身の健康相談等））は、あなたにとって適切だったと思いますか？